

II 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は36,531戸、うち販売農家数25,594戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業36.1%、1種兼業21.1%、2種兼業42.7%で2種兼業農家の比率が高まっている。(2005年「農林業センサス」結果より)

耕地面積は36,000haであり、その利用形態は水田30.3%、樹園地62.5%、普通畑11.3%である。

農業産出額は10,792千万円(構成比:米7.7% 果実60.3% 野菜15.5% 花き5.1% 畜産5.9%)

	平成17年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸 36,531	% 100.0	戸 7,423	戸 5,843	戸 4,489	戸 5,488	戸 6,628	戸 5,080	戸 1,580
販売農家	25,594	(100.0)	4,813	4,294	2,943	4,256	5,038	3,547	703
専業	9,250	25.3 (36.1)	1,538	1,373	917	1,731	1,902	1,478	308
1兼	5,408	14.8 (21.1)	804	943	554	1,147	1,129	778	51
2兼	10,936	29.9 (42.7)	2,471	1,978	1,472	1,378	2,007	1,291	335
	平成20年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha 36,000	% 100.0	ha 6,621	ha 5,782	ha 4,382	ha 6,081	ha 6,685	ha 5,420	ha 1,028
水田	10,900	30.3	2,917	2,083	1,106	598	2,154	1,399	675
樹園地	22,500	62.5 (100.0)	3,122	3,504	3,106	5,238	3,669	3,704	158
みかん	8000	(35.6)	1,922	902	230	3,853	375	718	6
はっさく	1,170	(5.2)	107	575	75	223	160	24	3
うめ	5,640	(25.1)	121	203	204	73	2,618	2,404	13
もも	788	(3.5)	53	584	145	4	2	0	0
かき	2,890	(12.8)	283	664	1,887	37	12	8	3
普通畑	2,540	11.3	546	208	165	244	867	318	195
	平成20年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円 10,792	% 100.0	千万円 1,809	千万円 1,844	千万円 1,182	千万円 2,195	千万円 2,263	千万円 1,340	千万円 158
米	833	7.7	250	152	77	38	172	108	36
果実	6,508	60.3	848	1,175	811	1,767	975	919	13
野菜	1,677	15.5	509	278	77	96	619	52	46
花き	545	5.1	34	84	23	60	290	43	11
畜産	638	5.9	112	χ	χ	106	χ	χ	43

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

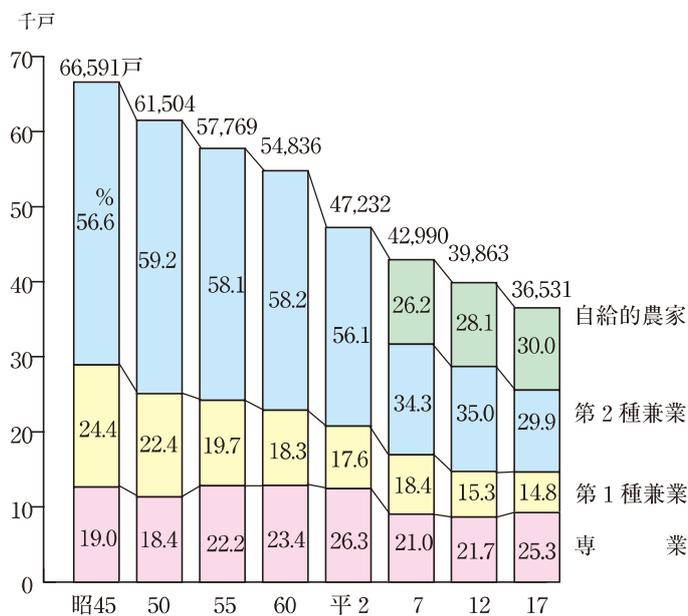
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

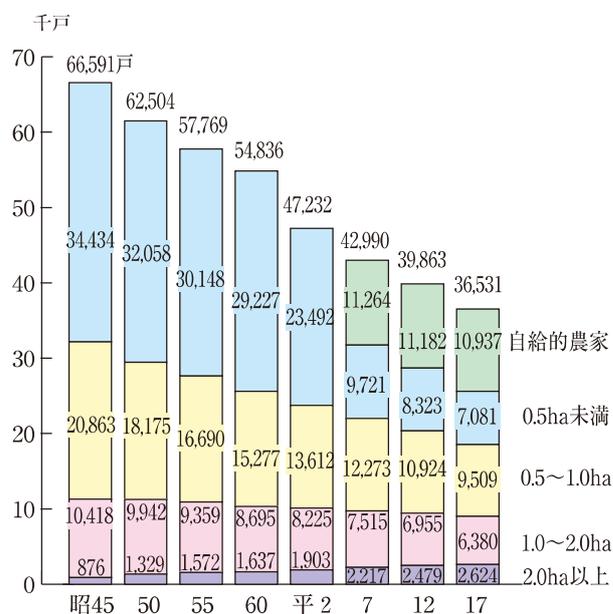
2) 農業を担う人々

平成17年の農家戸数は 36,531 戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が 75.4%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が 63.4%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

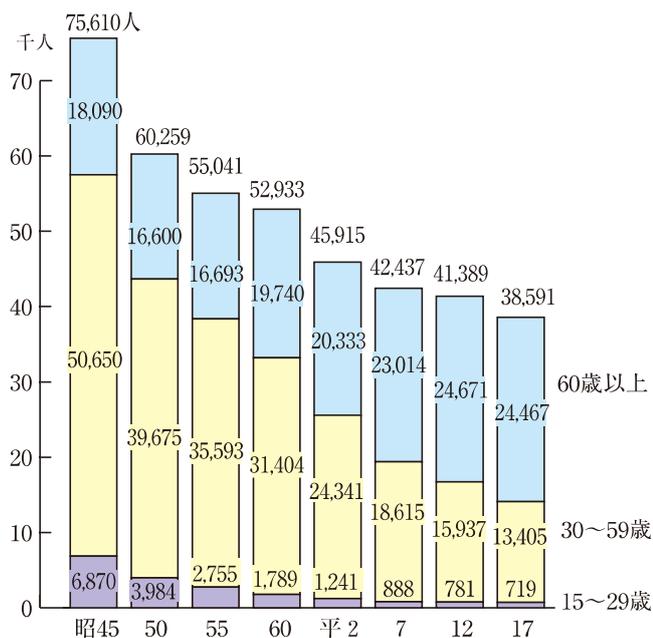
専兼業別農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

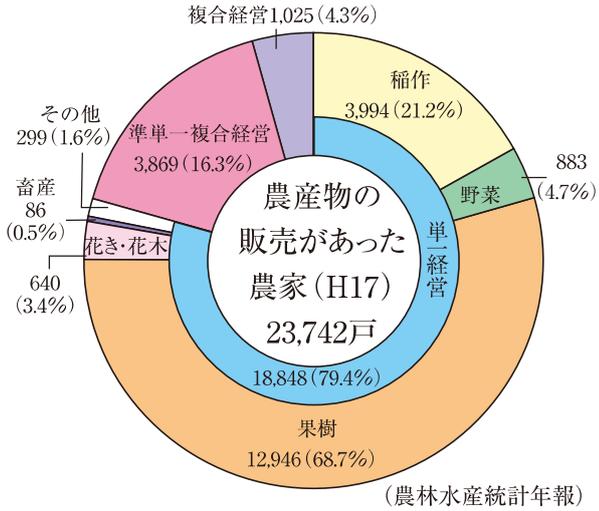


農家数	〔平17〕						
	全国	和歌山県	1位	2位	3位		
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	
総農家数	2,848,166	36,531	38	1.3	長野	茨城	新潟
販売農家数	1,963,424	25,594	36	1.3	茨城	新潟	福島

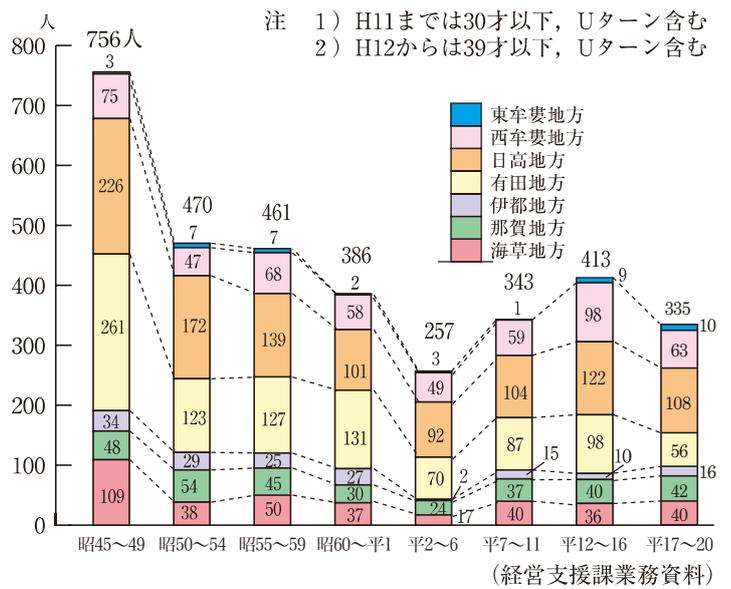
※本調査は、平成8年より調査対象が変更（総農家→販売農家）されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

（農林業センサス・農林水産統計年報）

農業経営組織別農家数 (平成17年)



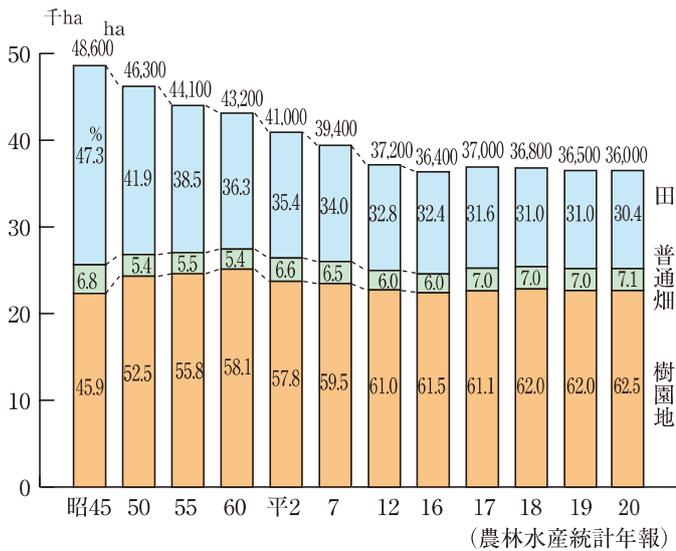
新規就農者数の推移



3) 耕地面積

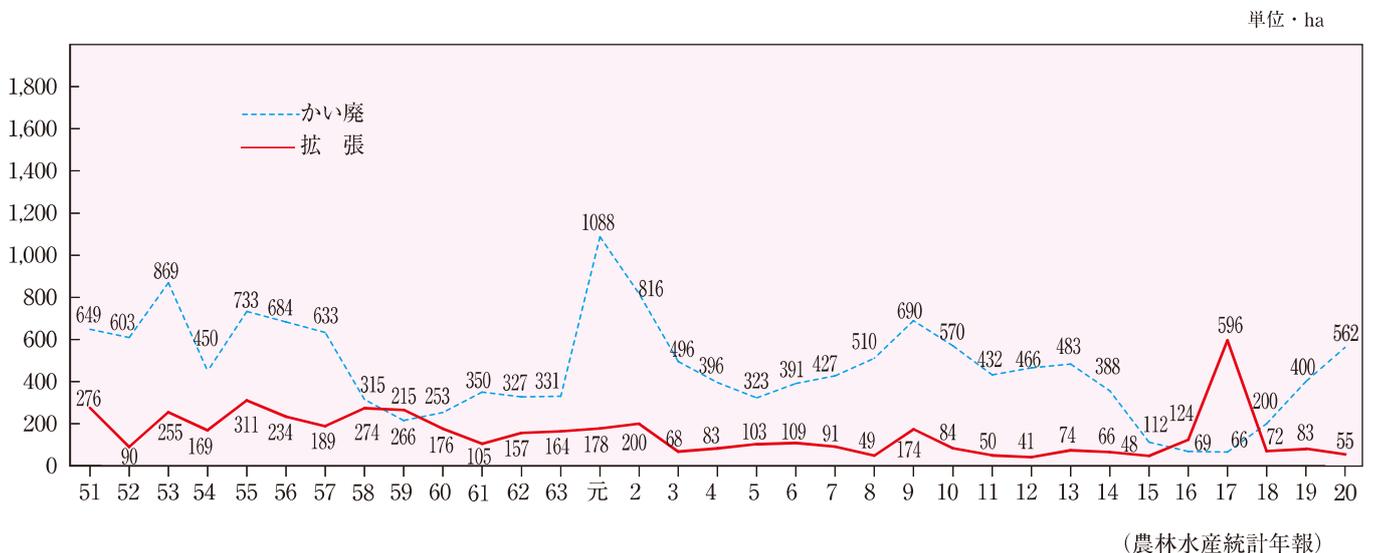
耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

田畑別耕地面積の推移

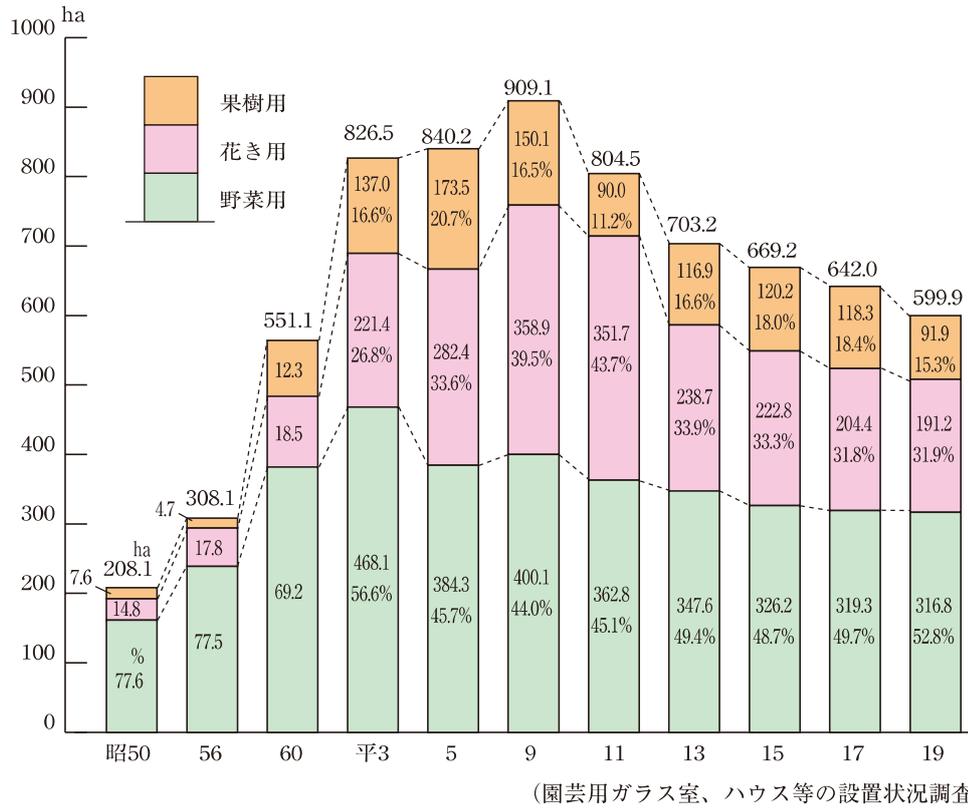


〔平20〕	全国		和歌山県		1位	2位	3位
	実数	順位	実数	シェア (%)	県名	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,628,000	37	36,000	0.8	北海道	茨城	新潟
田	2,516,000	42	10,900	0.4	北海道	新潟	秋田
畑	2,112,000	21	25,100	1.2	北海道	鹿児島	茨城

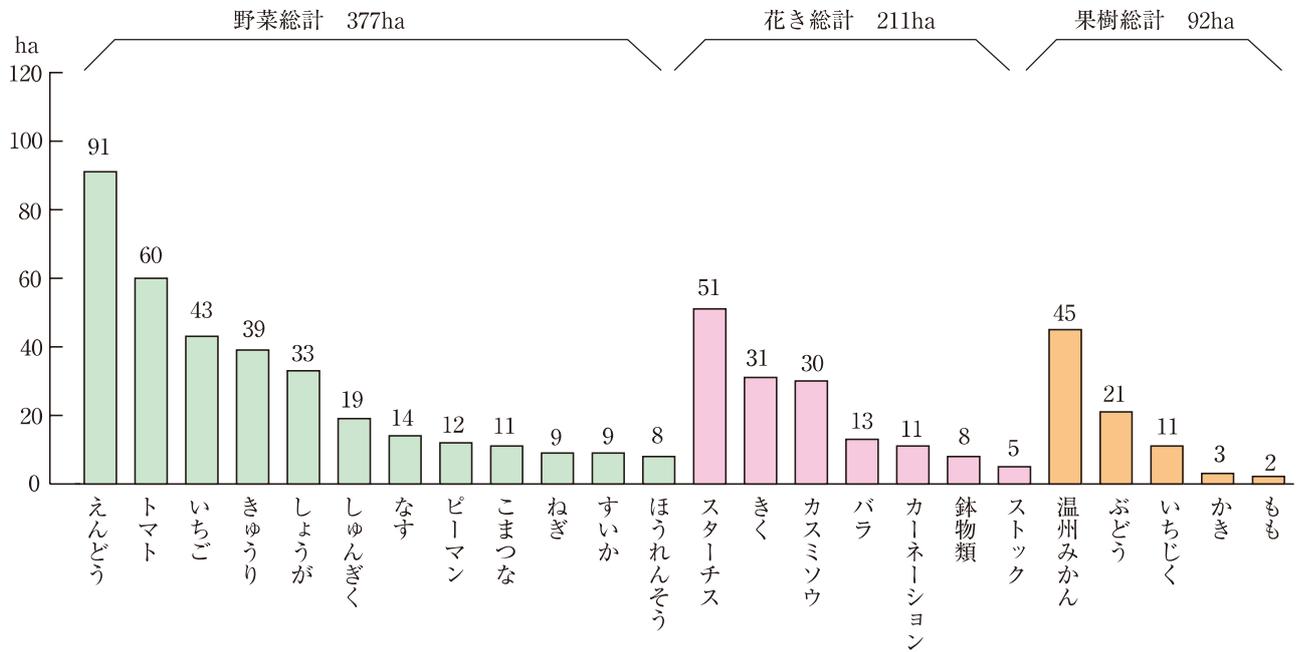
耕地の拡張・かい廢の推移



施設設置面積の推移



主要品目別施設栽培延面積 (平19)



施設園芸作付延面積の推移

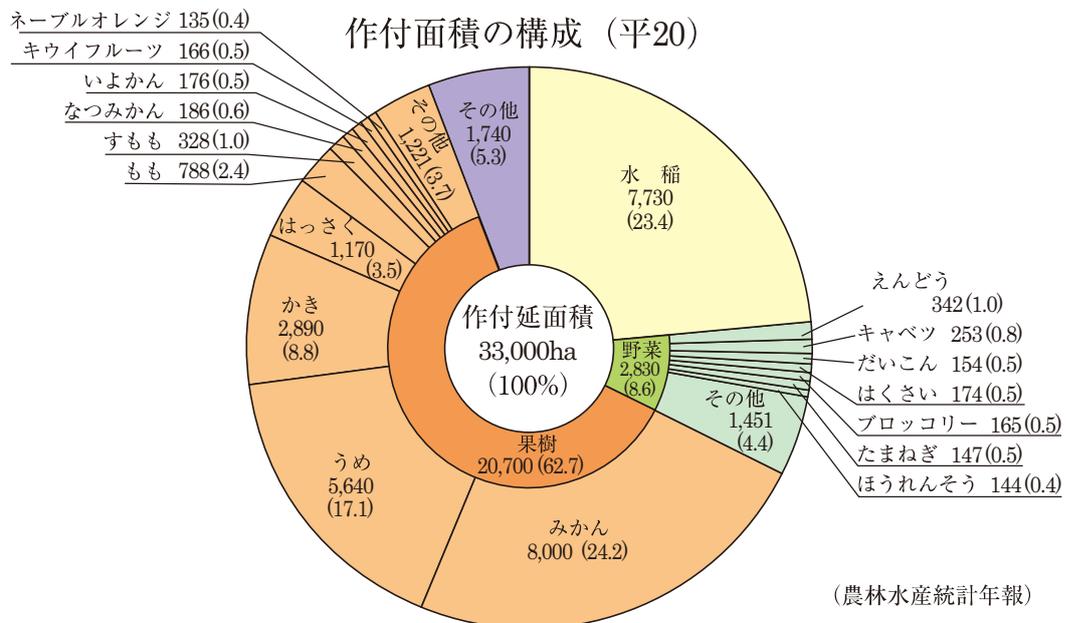
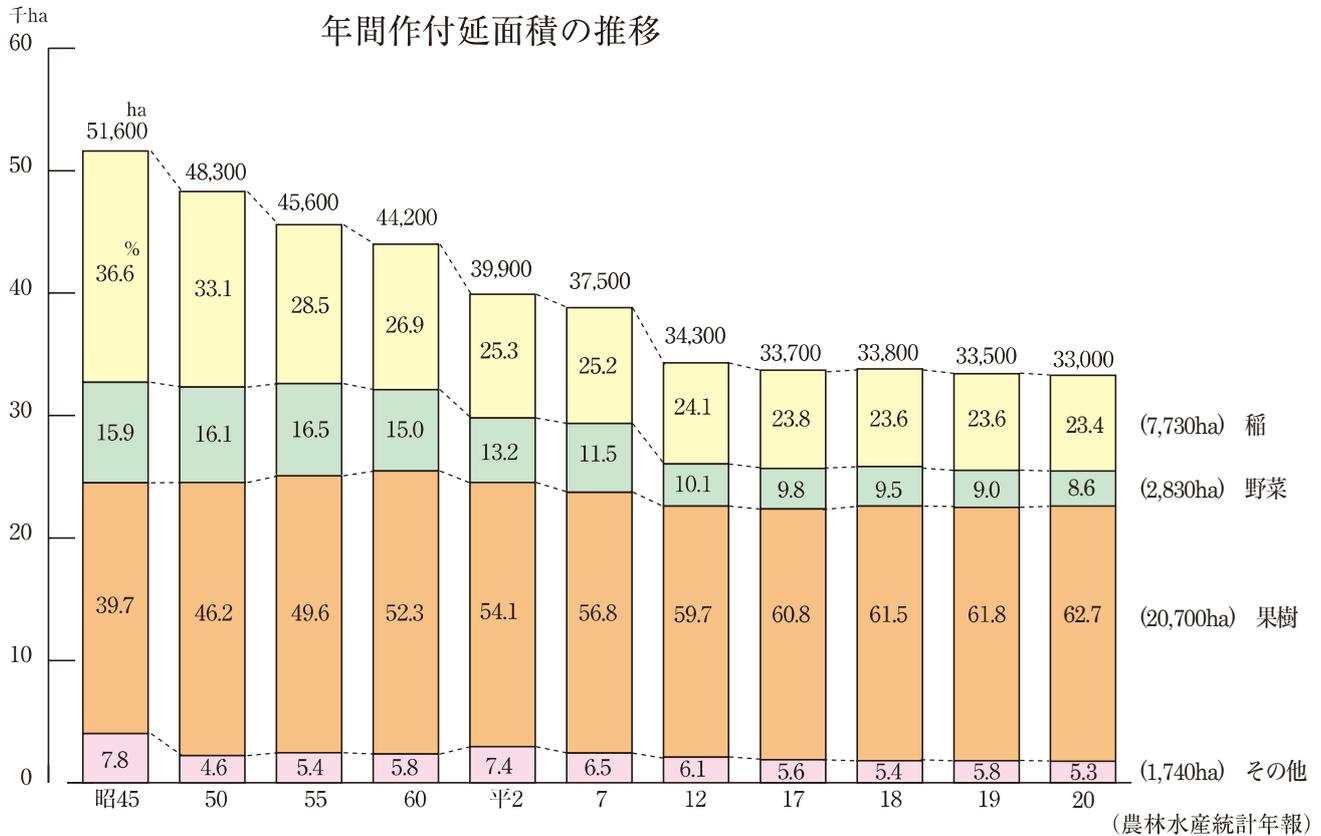
	昭50	55	60	平2	5	9	11	13	15	17	19
野菜	197	358	663	580	459	474	418	432	380	382	377
花き	35	79	180	276	353	413	362	266	210	220	211
果樹	16	15	80	137	174	150	99	117	120	118	92
合計	248	452	923	993	986	1,037	879	815	710	720	680

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹 (62.7%) ・水稲 (23.4%) ・野菜 (8.6%)

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



作付延面積

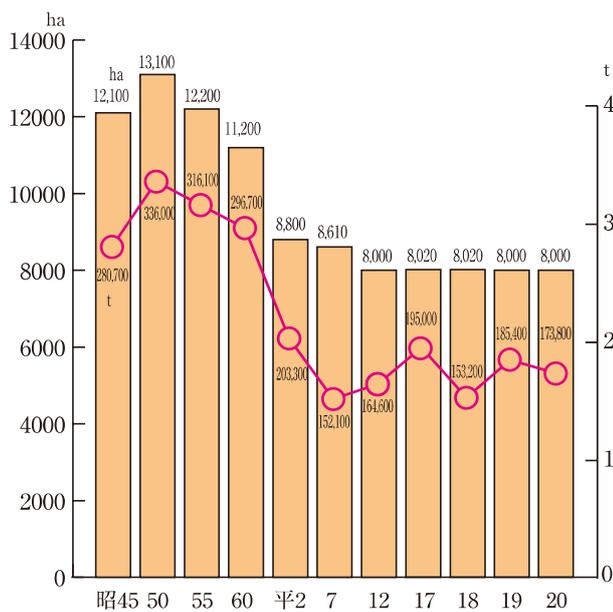
〔平20〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
作付延面積 (ha)	4,265,000	33,000	36	0.8	北海道	茨城	新潟
稲	1,627,000	7,730	42	0.5	新潟	北海道	秋田
野菜	554,400	2,830	43	0.5	北海道	千葉	茨城
果樹	254,700	20,700	3	8.1	青森	愛媛	和歌山

かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

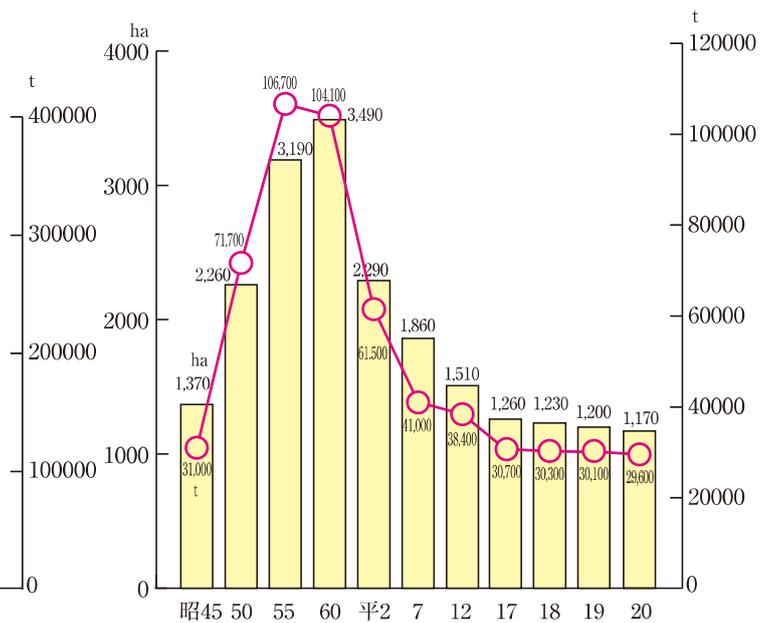
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。収穫量については平成8年以降、隔年結果が顕著になっている。
- はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。

平成20年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（16.0%）

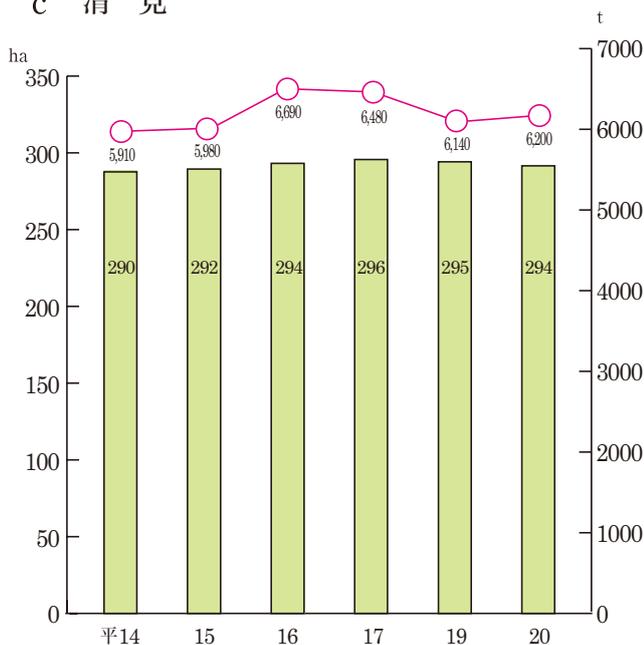
a みかん



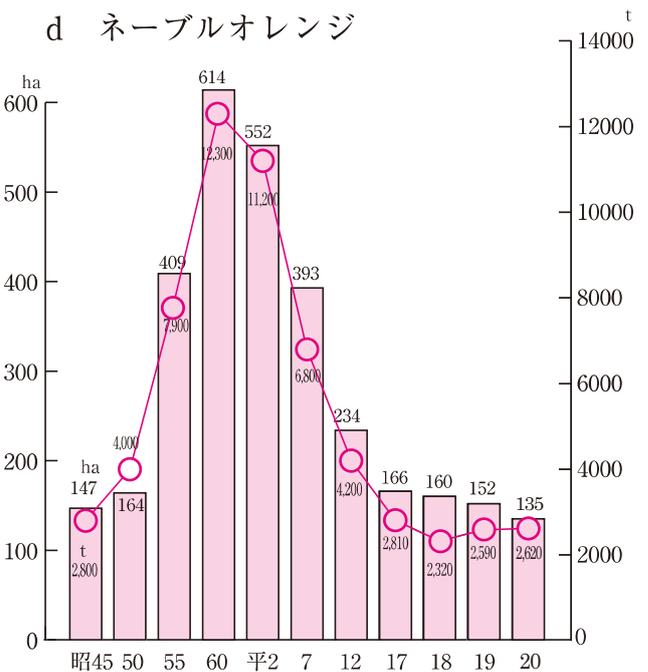
b はっさく



c 清見



d ネーブルオレンジ

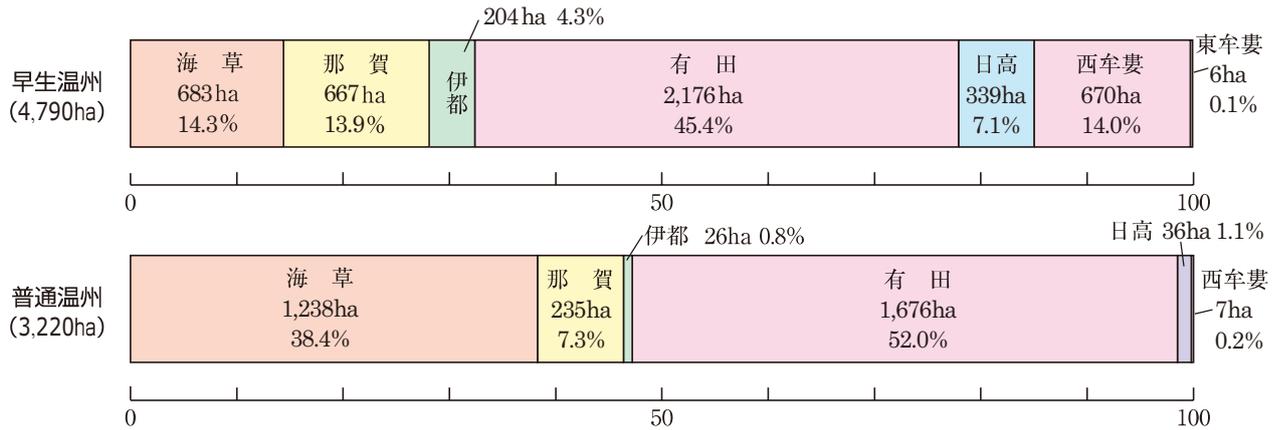


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

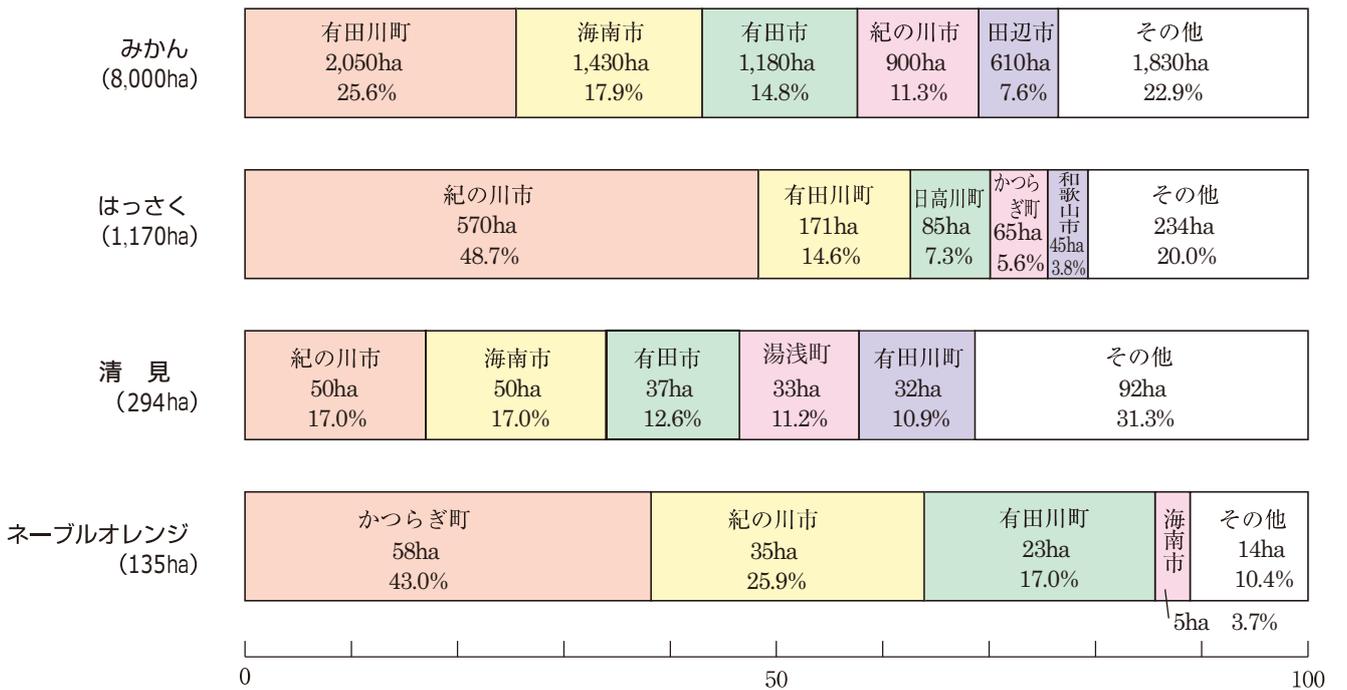
郡別・みかんの栽培面積（平20）



(市町村別統計検討協議会調べ)

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位5市町村〕（平20）



(市町村別統計検討協議会調べ)

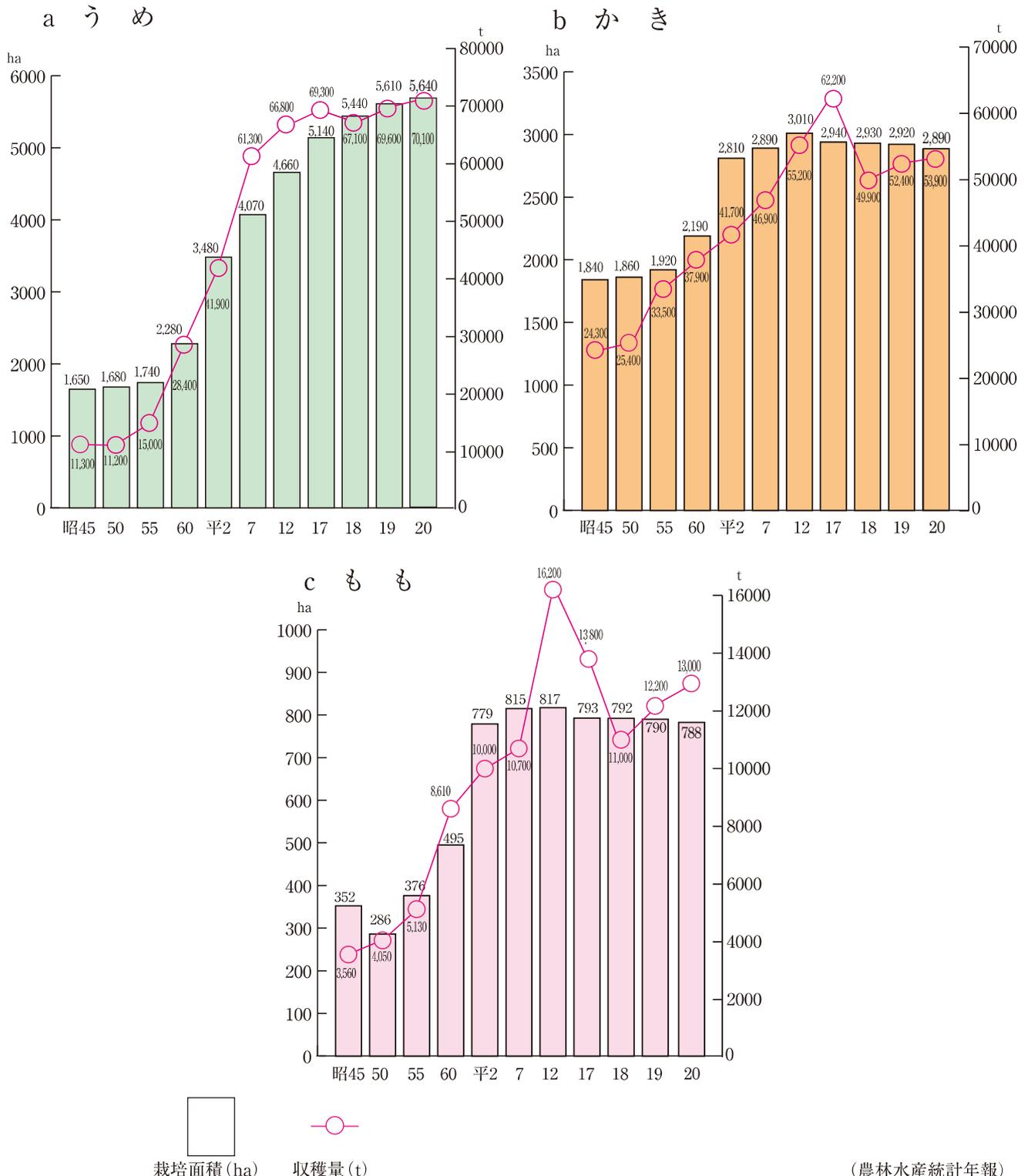
〔平20〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
みかん	49,900	8,000	1	16.0	和歌山	愛媛 静岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

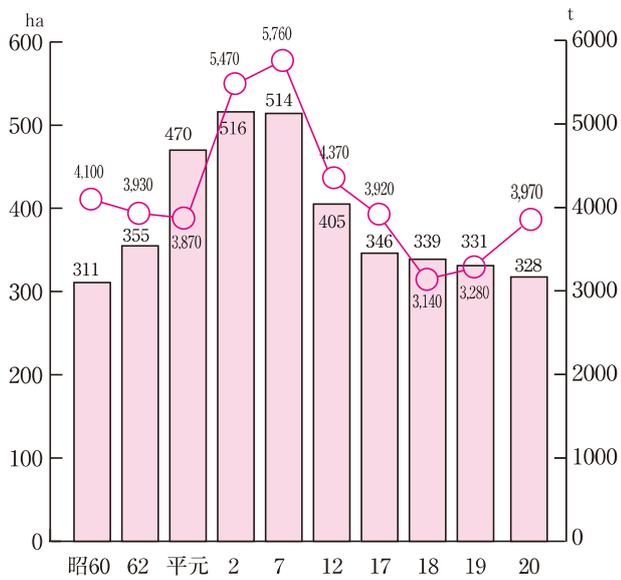
- かき・もも：昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、それ以降は微増傾向となっている。
- うめ：昭和55年から平成7年にかけて健康食ブームと相まって栽培面積が急増し、それ以降も増加傾向である。
- すもも・キウイフルーツ：平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。

平成20年の全国順位とシェア（栽培面積）——うめ1位（30.5%）・かき1位（12.0%）
 もも4位（7.1%）・すもも3位（10.1%）
 キウイフルーツ3位（6.6%）

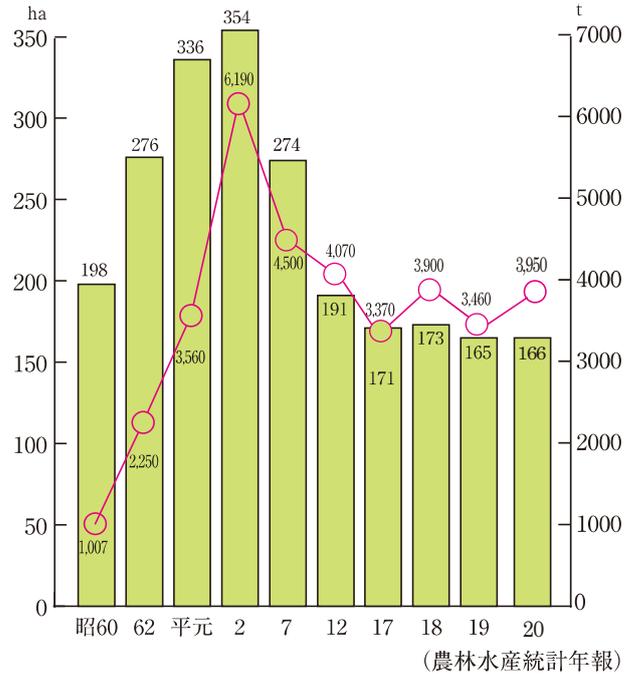


(農林水産統計年報)

d すもも



e キウイフルーツ



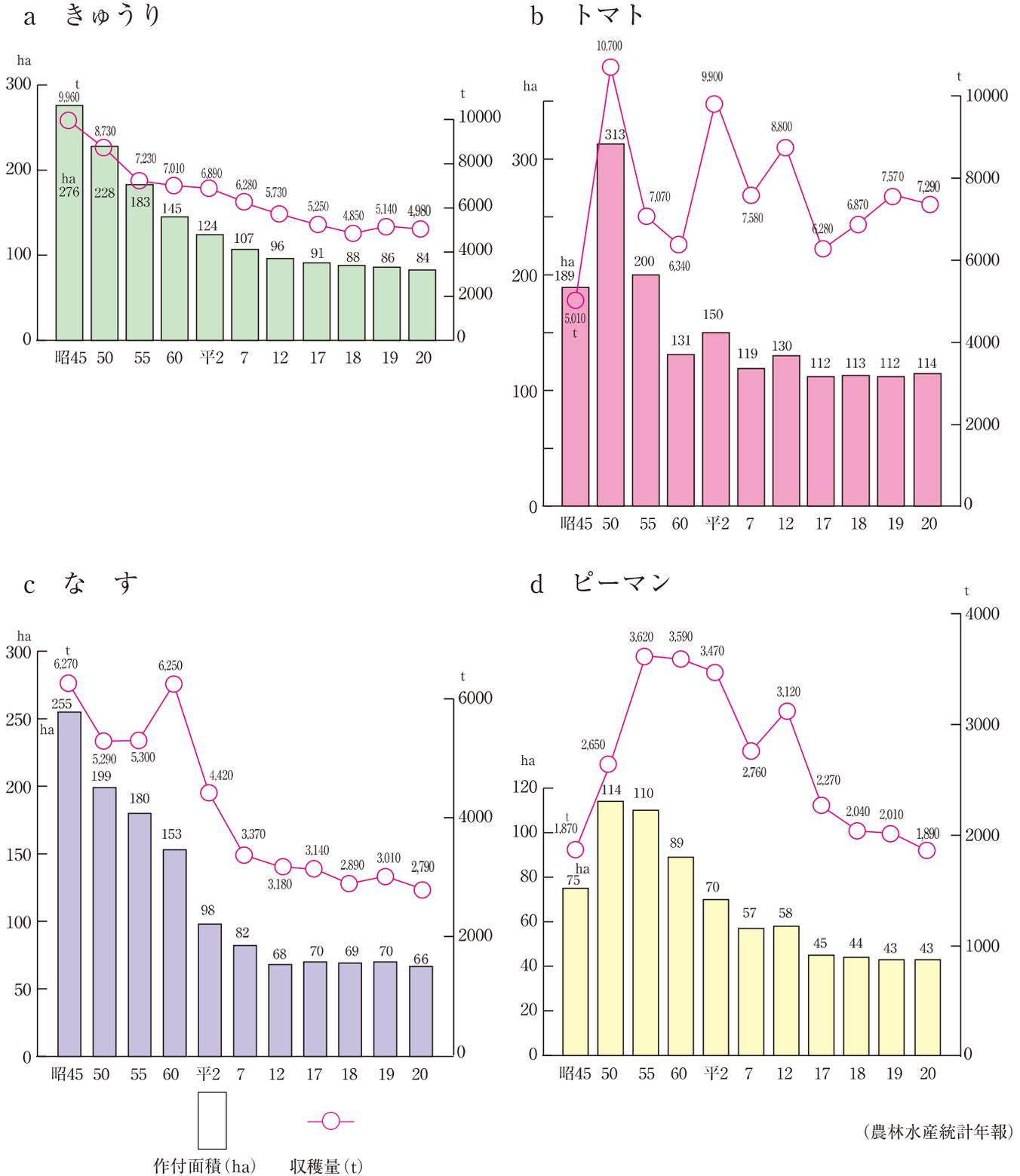
市町村別・落葉果樹の栽培面積 (平20)

うめ (5,640ha)	みなべ町 2,140ha 37.9%	田辺市 1,890ha 33.5%	上富田町 320ha 5.7%	印南町 300ha 5.3%	紀の川市 200ha 3.7%	その他 790ha 14.0%
かき (2,890ha)	かつらぎ町 868ha 30%	橋本市 681ha 23.6%	紀の川市 662ha 22.9%	九度山町 337ha 11.7%	紀美野町 215ha 7.4%	その他 127ha 4.5%
もも (788ha)	紀の川市 581ha 73.7%			かつらぎ町 138ha 17.5%	海南市 37ha 4.7%	その他 12ha 1.5%
すもも (328ha)	かつらぎ町 138ha 42.0%	紀の川市 50ha 15.2%	田辺市 47ha 14.3%	橋本市 33ha 10.1%	有田川町 22ha 6.7%	その他 38ha 11.6%
キウイフルーツ (166ha)	紀の川市 96ha 57.8%		有田川町 20ha 12.0%	海南市 26ha 15.7%	かつらぎ町 14ha 8.4%	その他 10ha 6.0%

栽培面積 (落葉果樹)		(ha)						
〔平20〕		全国	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
う	め	18,500	5,640	1	30.5	和歌山	群馬	長野
か	き	24,000	2,890	1	12.0	和歌山	福岡	奈良
も	も	11,100	788	4	7.1	山梨	福島	長野
す	も	3,240	328	3	10.1	山梨	長野	和歌山
	キウイフルーツ	2,510	166	3	6.6	愛媛	福岡	和歌山

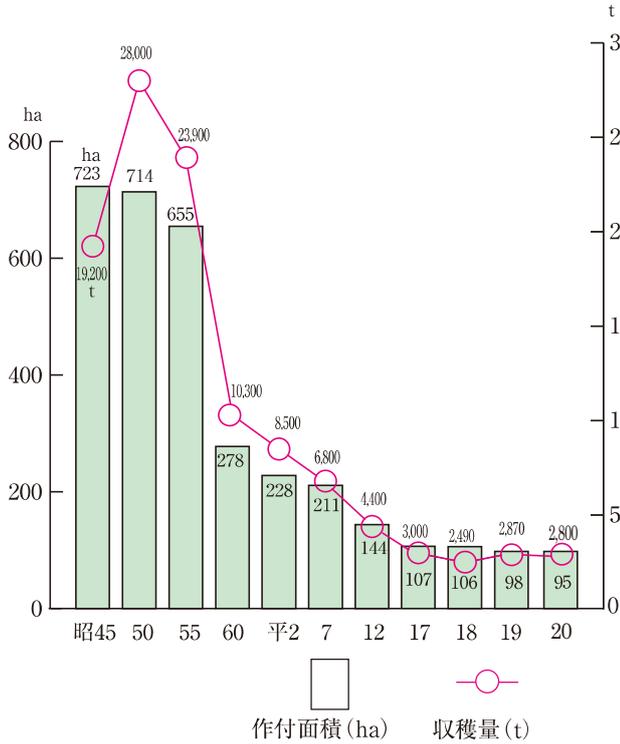
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、その傾向は近年やや鈍化している。

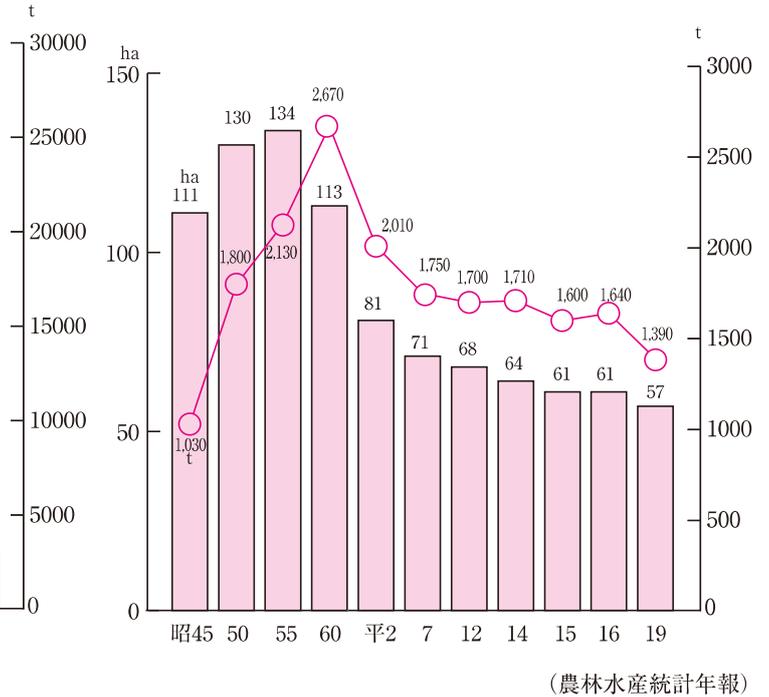


(農林水産統計年報)

e すいか



f いちご



(農林水産統計年報)

市町村別・果菜類の作付面積 (平20)

きゅうり (84 ha)	紀の川市 24ha 28.6%	美浜町 11ha 13.0%	かつらぎ町 7ha 8.3%	印南町 6ha 7.1%	日高町 5ha 6.0%	その他 31ha 37.0%	
トマト (114 ha)	印南町 21ha 18.4%	紀の川市 14ha 12.3%	有田川町 13ha 11.4%	日高町 13ha 11.4%	和歌山市 10ha 8.8%	御坊市 6ha 5.3%	その他 37ha 32.4%
なす (66 ha)	紀の川市 12ha 18.2%	和歌山市 5ha 7.6%	日高川町 5ha 7.6%	御坊市 5ha 7.6%	かつらぎ町 5ha 7.6%	その他 34ha 51.4%	
ピーマン (43 ha)	和歌山市 9ha 20.9%	有田川町 7ha 16.3%	御坊市 7ha 16.3%	日高川町 3ha 7.0%	紀の川市 3ha 7.0%	その他 24ha 32.5%	
すいか (95 ha)	印南町 37ha 38.9%	御坊市 16ha 16.8%	紀の川市 11ha 11.6%	和歌山市 7ha 7.4%	その他 24ha 25.3%		
いちご (61 ha)	打田町 16ha 26.2%	貴志川町 7ha 11.5%	粉河町 4ha 6.6%	御坊市 3ha 4.9%	湯浅町 3ha 4.9%	みなべ町 3ha 4.9%	その他 25ha 41.0%

※いちごの数値は平成16年 (農林水産統計年報)

(市町村別統計検討協議会調べ)

作付面積 (果菜類) (ha)							
[平20]	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
きゅうり	12,500	84	39	0.7	群馬	福島	宮崎
トマト	12,500	114	35	0.9	熊本	茨城	千葉
なす	10,600	66	44	0.6	新潟	群馬	山形
ピーマン	3,430	43	25	1.3	茨城	宮崎	岩手
すいか	12,300	95	24	0.8	熊本	千葉	山形
いちご	6,580	57	33	0.9	栃木	福岡	熊本

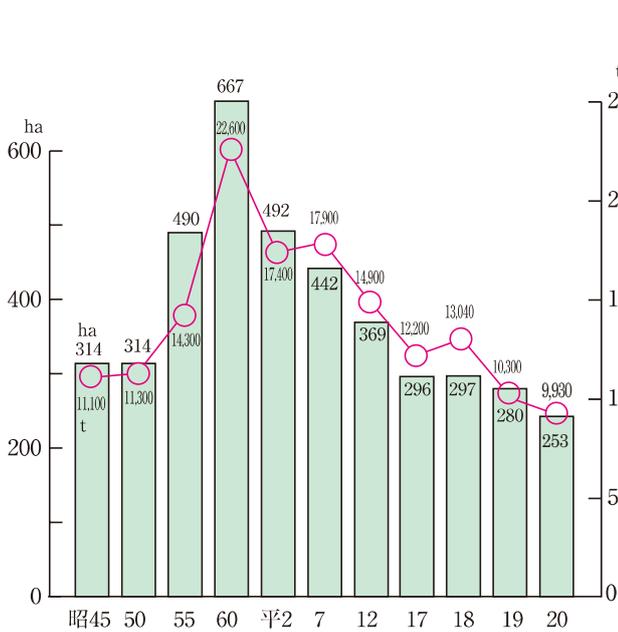
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

※いちごの数値は平成19年

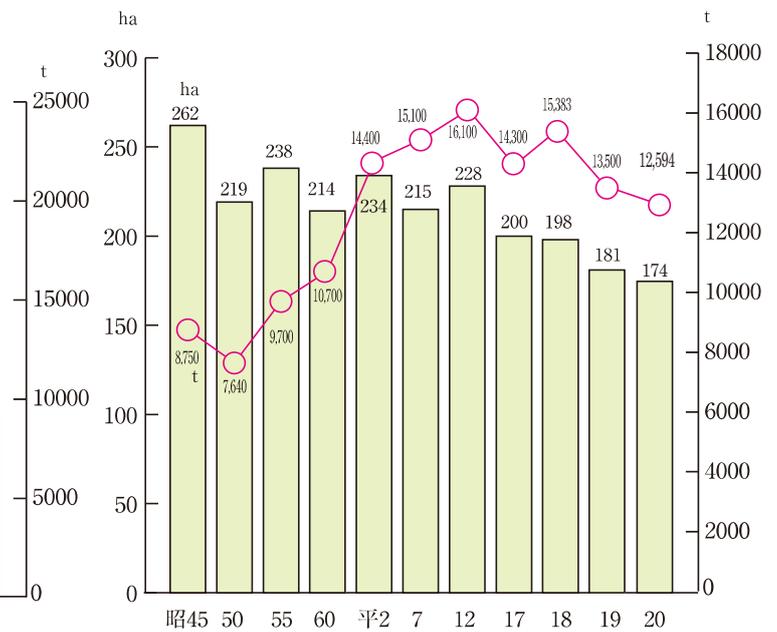
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- キャベツ・ハクサイ；近年、栽培面積、収穫量ともに微減傾向である。
- ほうれんそう・ねぎ；近年、栽培面積は横ばいである。
- たまねぎ・レタス；栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年鈍化している。

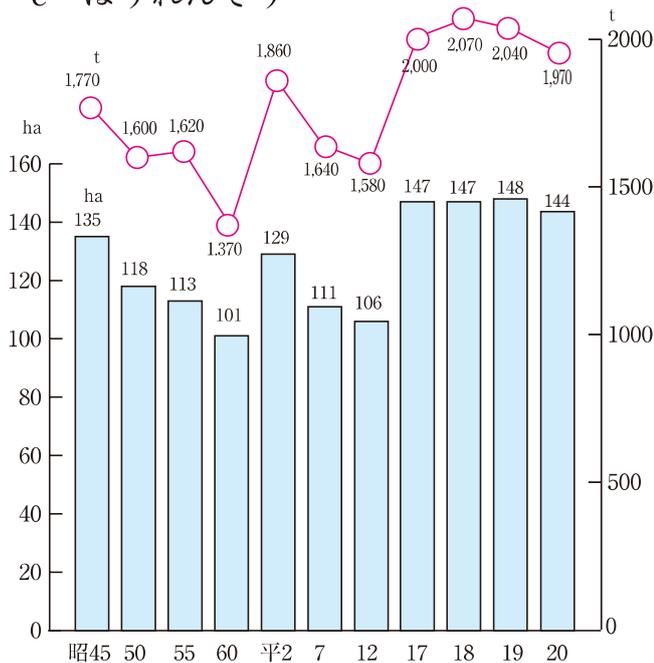
a キャベツ



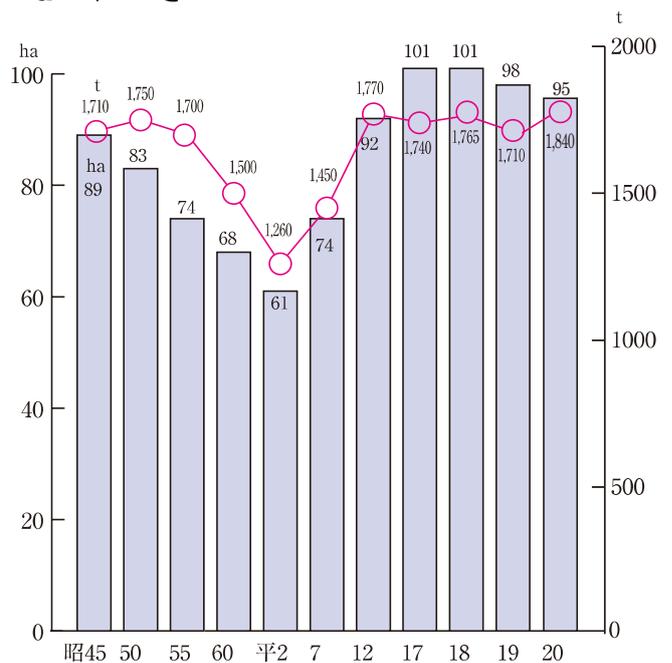
b はくさい



c ほうれんそう



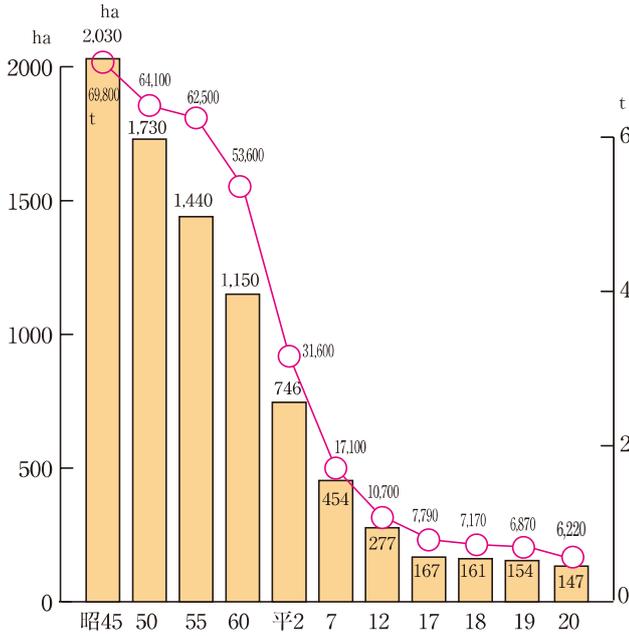
d ねぎ



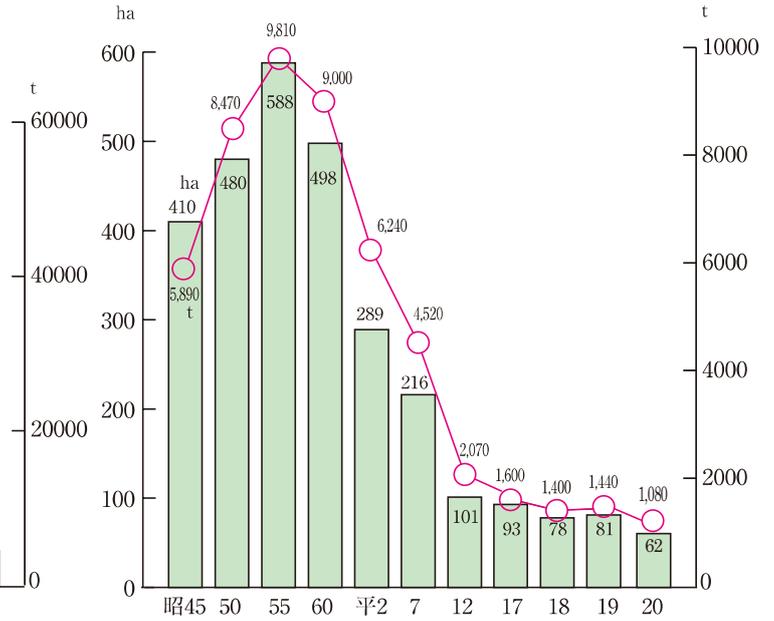
□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

e たまねぎ



f レタス



(農林水産統計年報)

□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

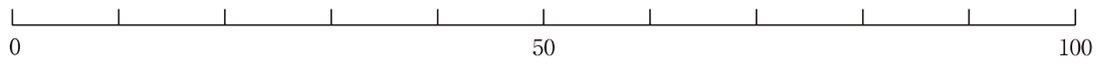
市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平20)

キャベツ (253ha)	和歌山市	岩出市	紀の川市	御坊市	その他
	171ha 67.6%	18ha 7.1%	14ha 5.5%	13ha 5.1%	37ha 14.6%

はくさい (174ha)	和歌山市	岩出市	御坊市	紀の川市	その他
	86ha 49.4%	19ha 10.9%	16ha 9.2%	14ha 8.0%	39ha 23.0%

たまねぎ (147ha)	紀の川市	岩出市	和歌山市	かつらぎ町	その他
	91ha 61.9%	8ha 5.4%	8ha 5.4%	8ha 5.4%	32ha 21.9%

冬レタス (62ha)	御坊市	白浜町	和歌山市	日高川町	上富田町	その他
	19ha 30.6%	13ha 21.0%	9ha 14.4%	4ha 6.5%	4ha 6.5%	13ha 21.0%



(市町村別統計検討協議会調べ)

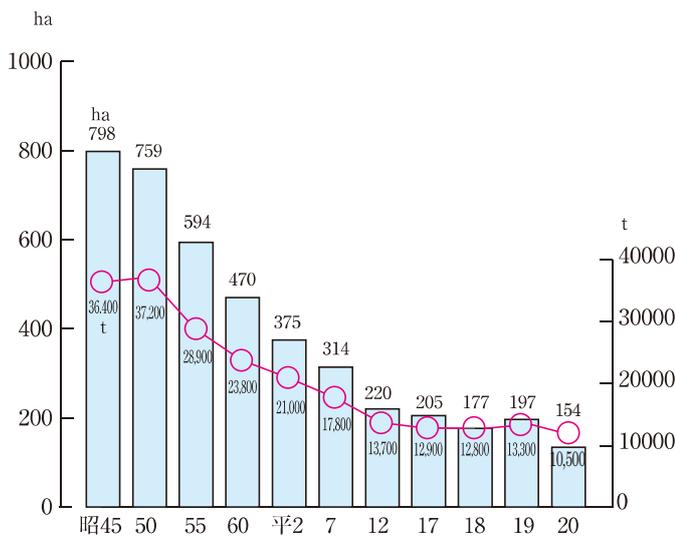
作付面積 (葉茎菜類)		(ha)					
〔平20〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
キャベツ	33,100	253	31	0.8	愛知	群馬	千葉
はくさい	18,600	174	30	0.9	茨城	長野	北海道
ほうれんそう	22,500	144	35	0.6	千葉	埼玉	群馬
ねぎ	23,000	95	45	0.4	千葉	埼玉	茨城
たまねぎ	24,100	147	23	0.6	北海道	佐賀	兵庫
レタス	20,800	62	30	0.3	長野	茨城	兵庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

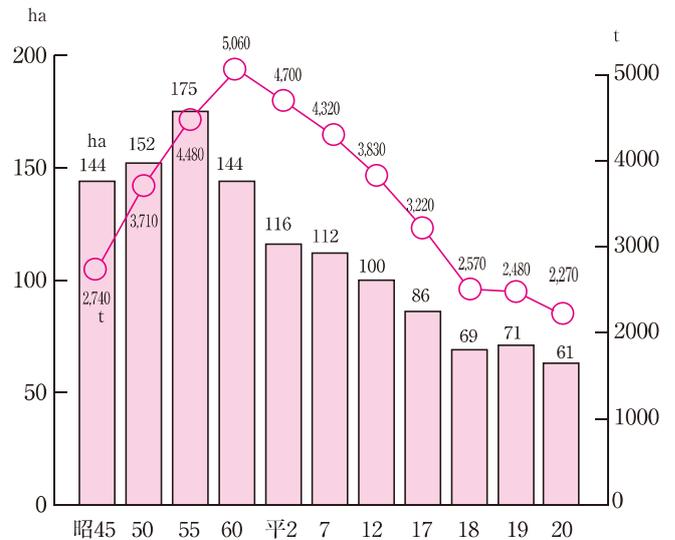
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- だいこん・にんじん・さといも・えんどう：栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。

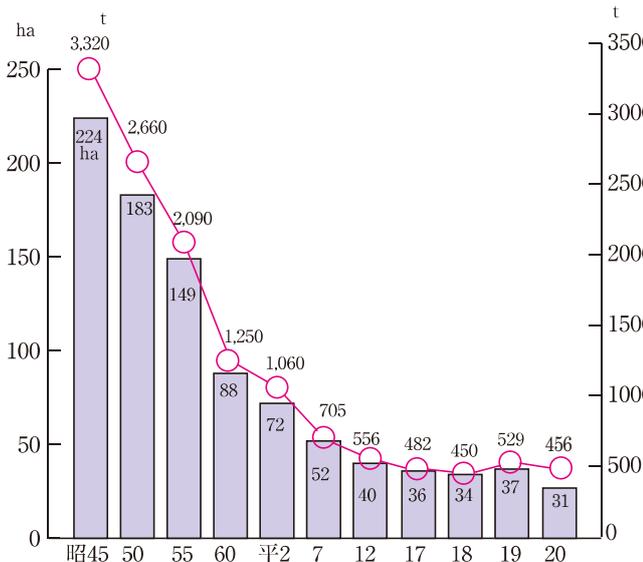
a だいこん



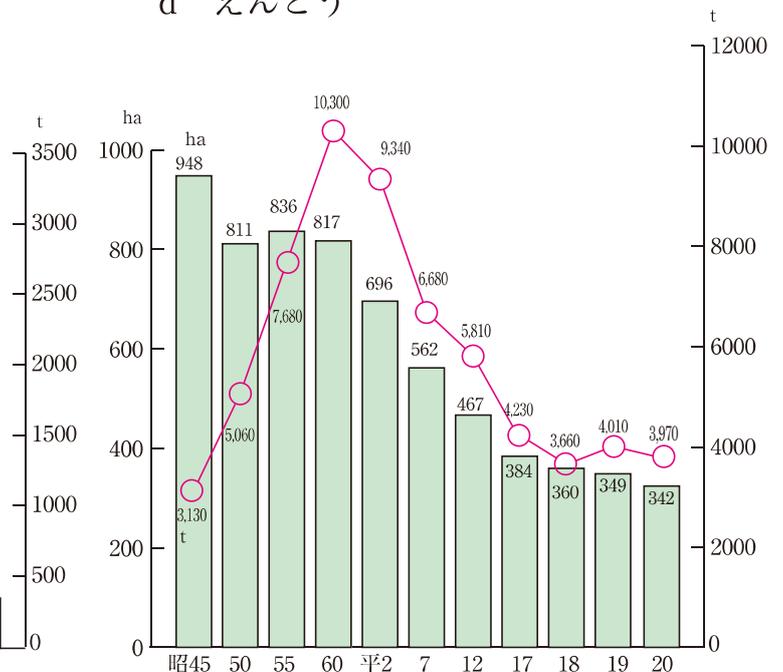
b にんじん



c さといも



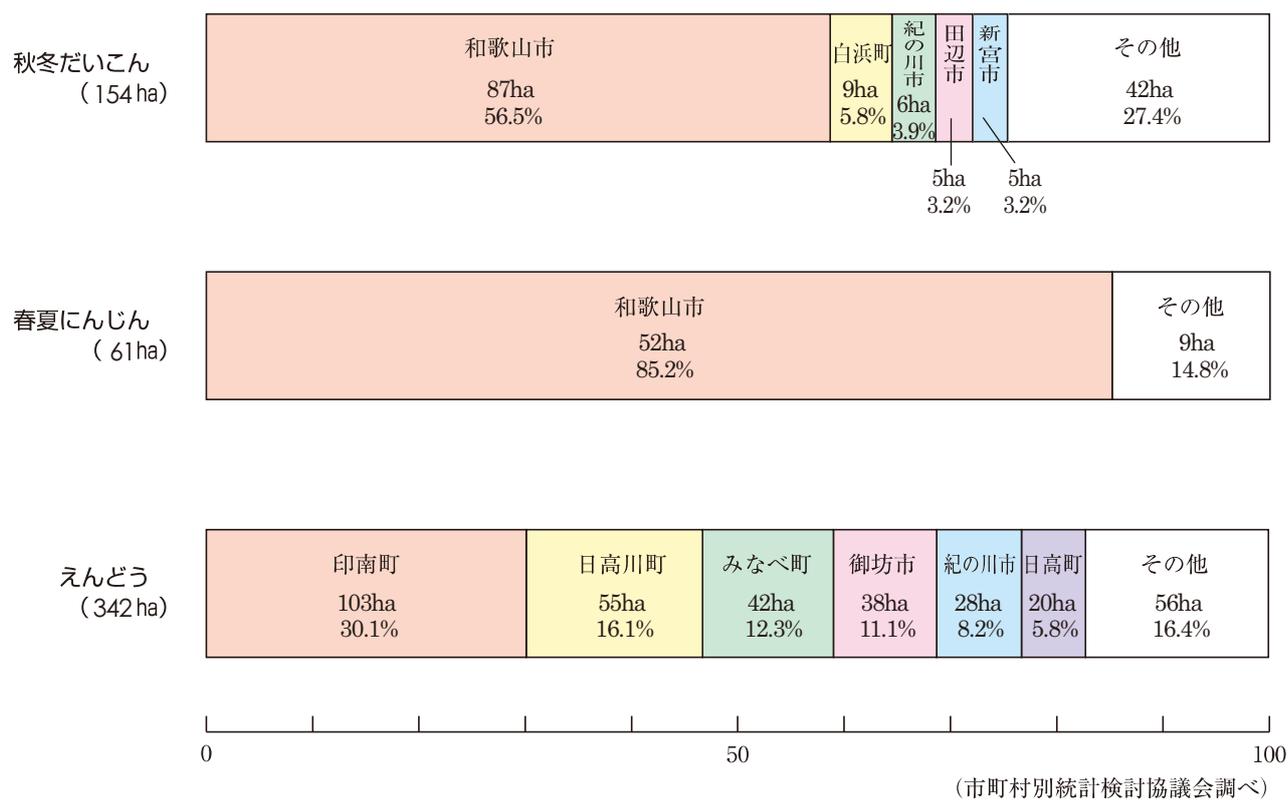
d えんどう



□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平20）



作付面積（根菜類・豆類）							
〔平20〕	和歌山県				1位	2位	3位
	全国 実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
だいこん	36,600	154	42	0.4	北海道	青森	千葉
にんじん	19,200	71	34	0.3	北海道	千葉	青森
さといも	14,000	31	44	0.2	千葉	宮崎	鹿児島
えんどう	4,310	342	3	8.0	鹿児島	福島	和歌山

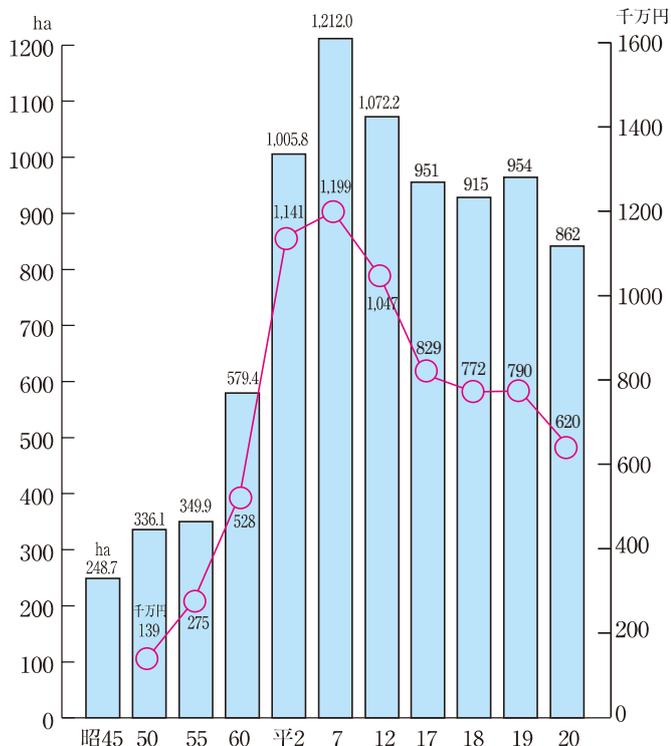
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

(野菜生産出荷統計)

花き生産の推移

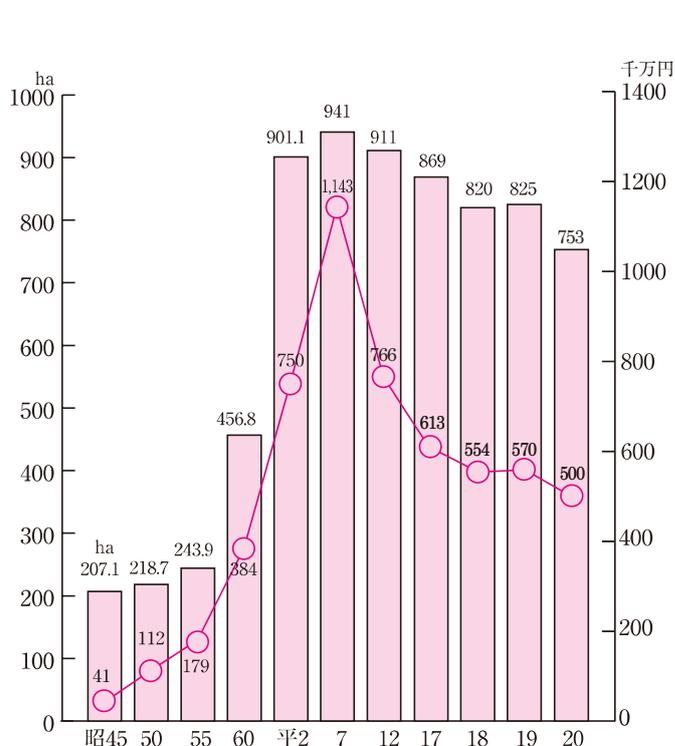
花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけ需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。

総計

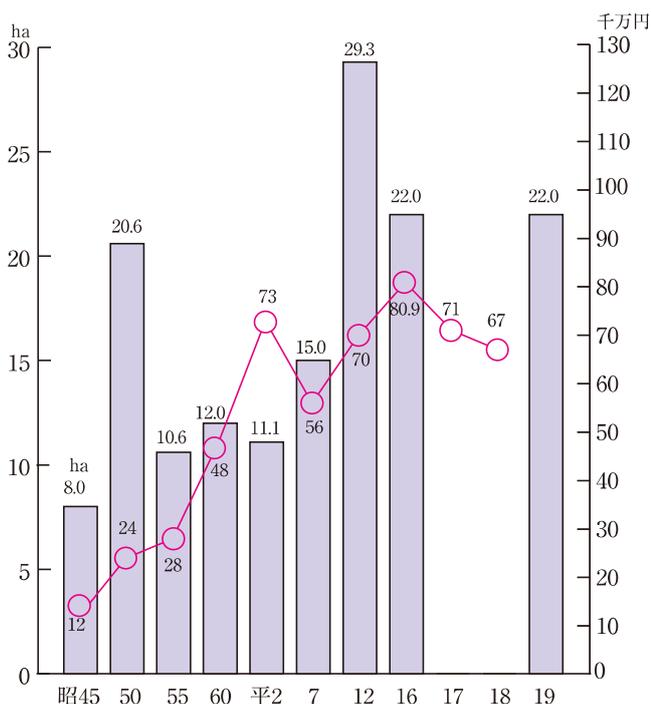


※農林水産統計年報値に花木等生産状況調査値(花木類、地被植物類)を合算

b 切花

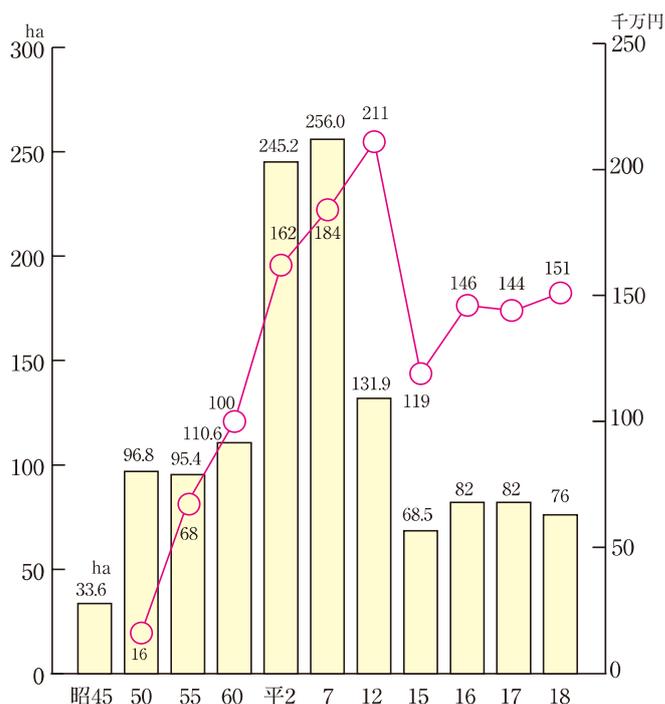


c 鉢物・花壇苗



※平17・18の作付面積の数値はない。

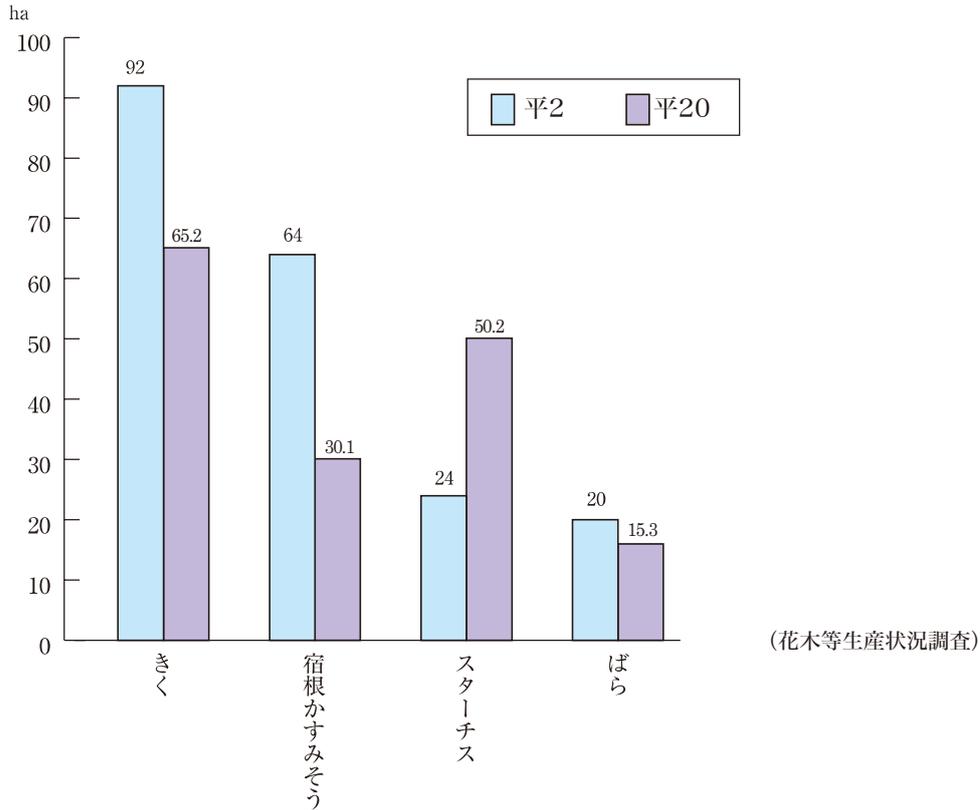
d 花木類等



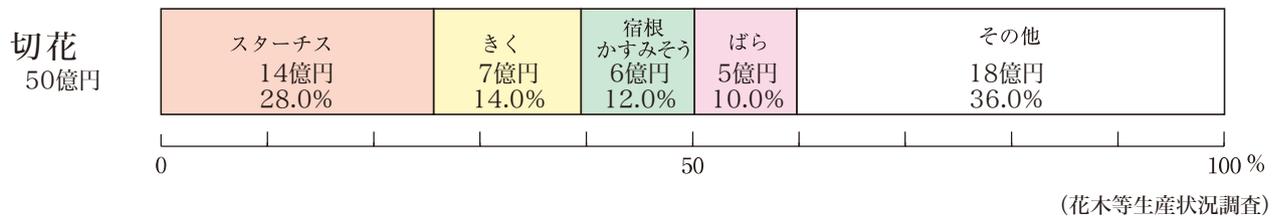
(農林水産統計年報、花木等生産状況調査)

□ 作付面積 (ha) ○ 生産額 (千万円)

主要切花の作付面積



切花生産額の品目別割合 (平20)



産出額 (花き)							
[平20]	(億円)						
	全国 実数	和歌山 実数	和歌山 順位	和歌山 シェア(%)	1位 県名	2位 県名	3位 県名
スタートチス	43	14	2	32.6	北海道	和歌山	長野
宿根かすみそう	35	6	2	17.1	熊本	和歌山	福島

(花木等生産状況調査)

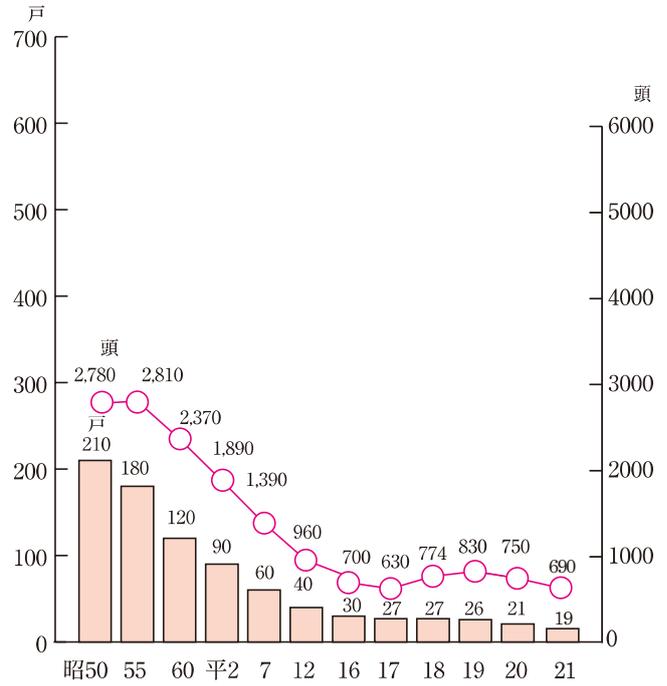
家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

畜産農家数はすべての部門で前年に比べ減少している。

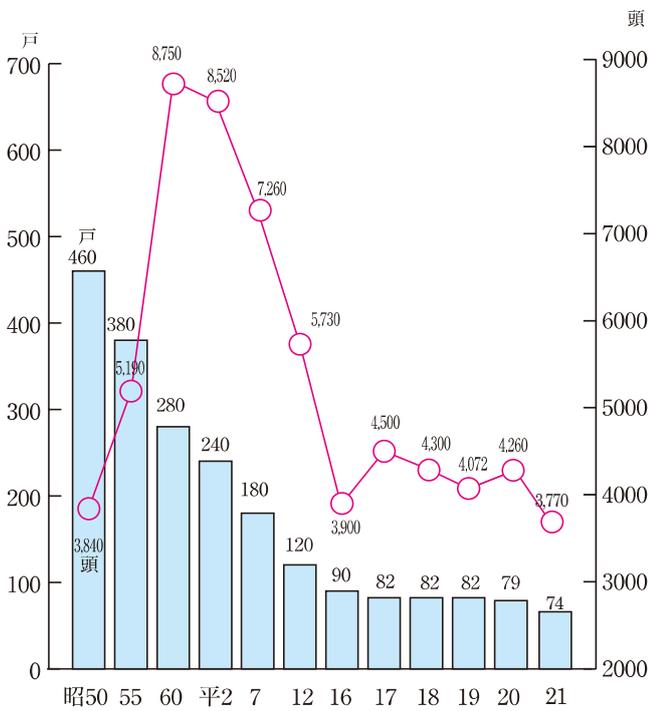
飼養頭羽数はすべての部門で年々減少傾向にあるが、昭和50年代と比べ1戸当たりの飼養頭羽数は大幅に増加しており、すべての部門で経営の大規模化が図られている。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

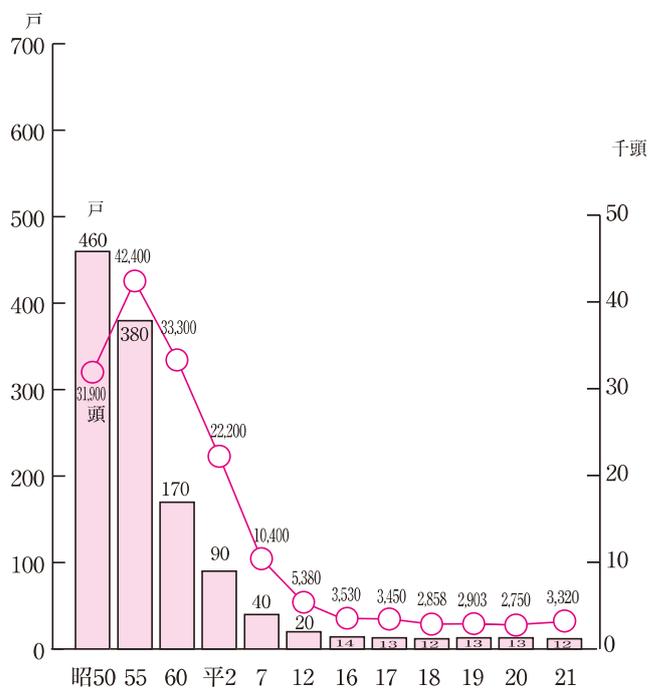
a 乳用牛



b 肉用牛



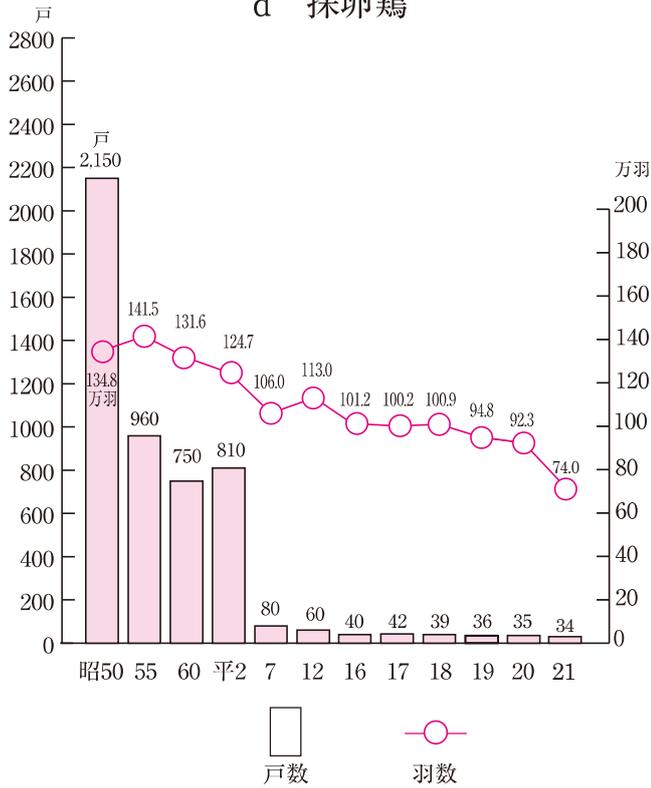
c 豚



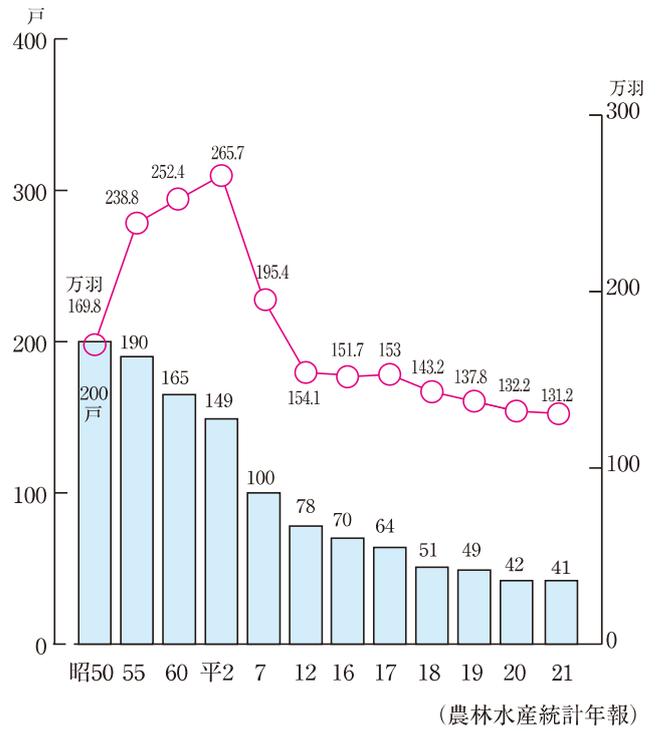
戸数
 頭数

(農林水産統計年報)

d 採卵鶏

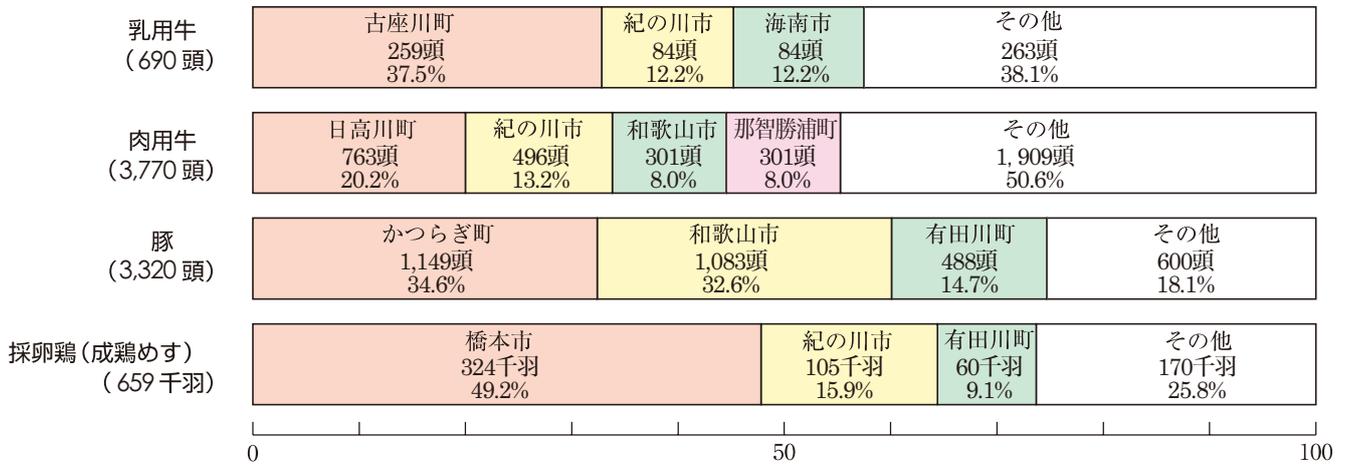


e ブロイラー



(農林水産統計年報)

市町村別・家畜飼養頭羽数 (平21)



(県畜産課業務資料)

家畜の飼養頭羽数・戸数

〔平 21.2.1 現在〕		和歌山県				1位	2位	3位
		全 国 実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,500,000	690	47	0.1	北海道	栃木	岩手
	肉用牛(頭)	2,923,000	3,770	44	0.1	北海道	鹿児島	宮崎
	豚(頭)	9,899,000	3,320	47	0.1	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏(千羽)	178,208	740	39	0.4	茨城	千葉	愛知
飼養戸数(戸)	乳用牛	23,100	19	47	0.1	北海道	岩手	千葉
	肉用牛	77,300	74	42	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚	6,890	12	45	0.2	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏	3,110	34	31	1.1	愛知	千葉	鹿児島

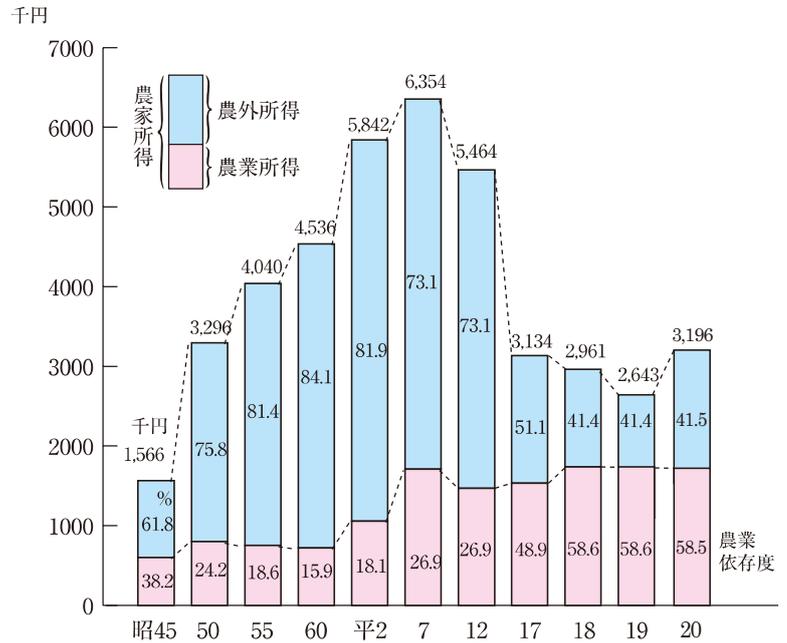
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60~70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成20年は417億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

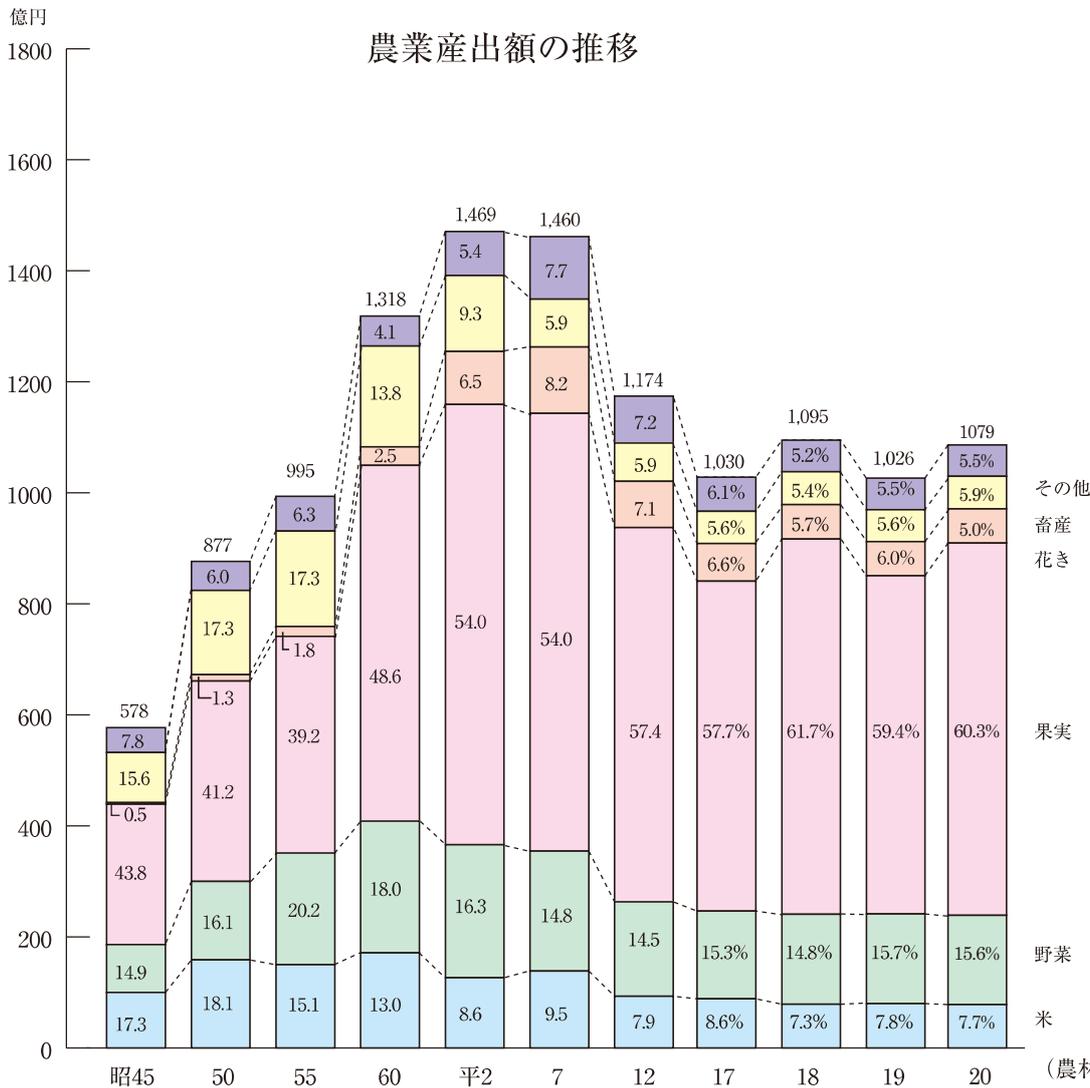
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



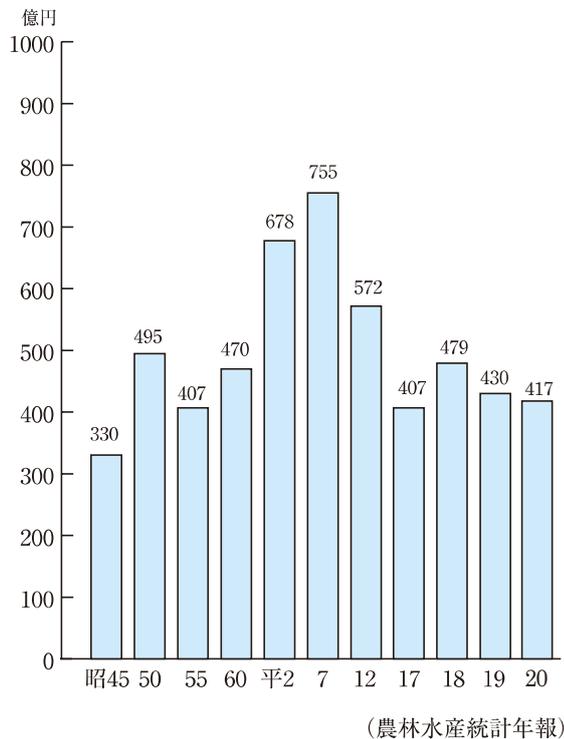
(農林水産統計年報)

農業産出額の推移

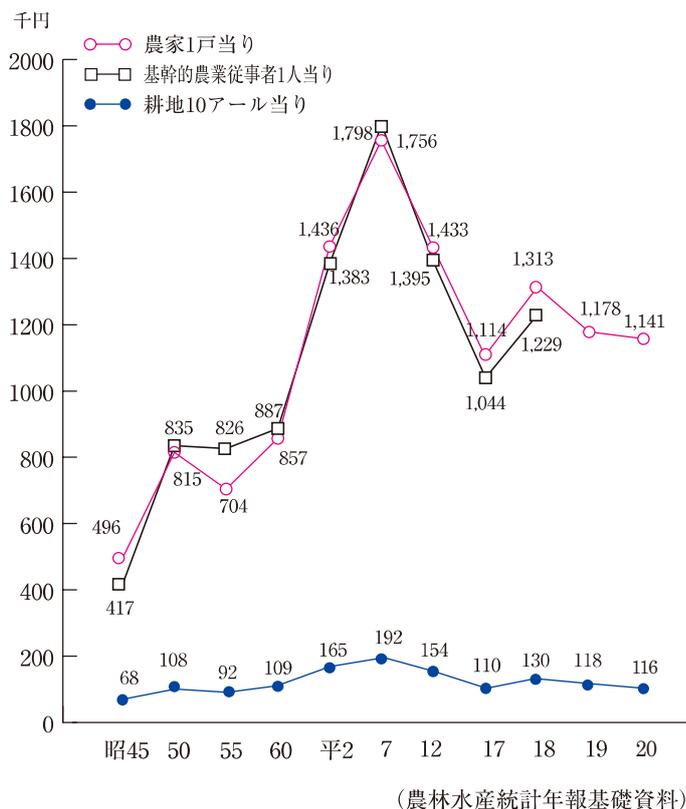


(農林水産統計年報)

生産農業所得（県計）の推移



生産農業所得（単位当り）の推移



※平成19年、20年の基幹的農業従事者1人当たりの生産農業所得数値は未公表

市町村別・部門別農業産出額（平20）

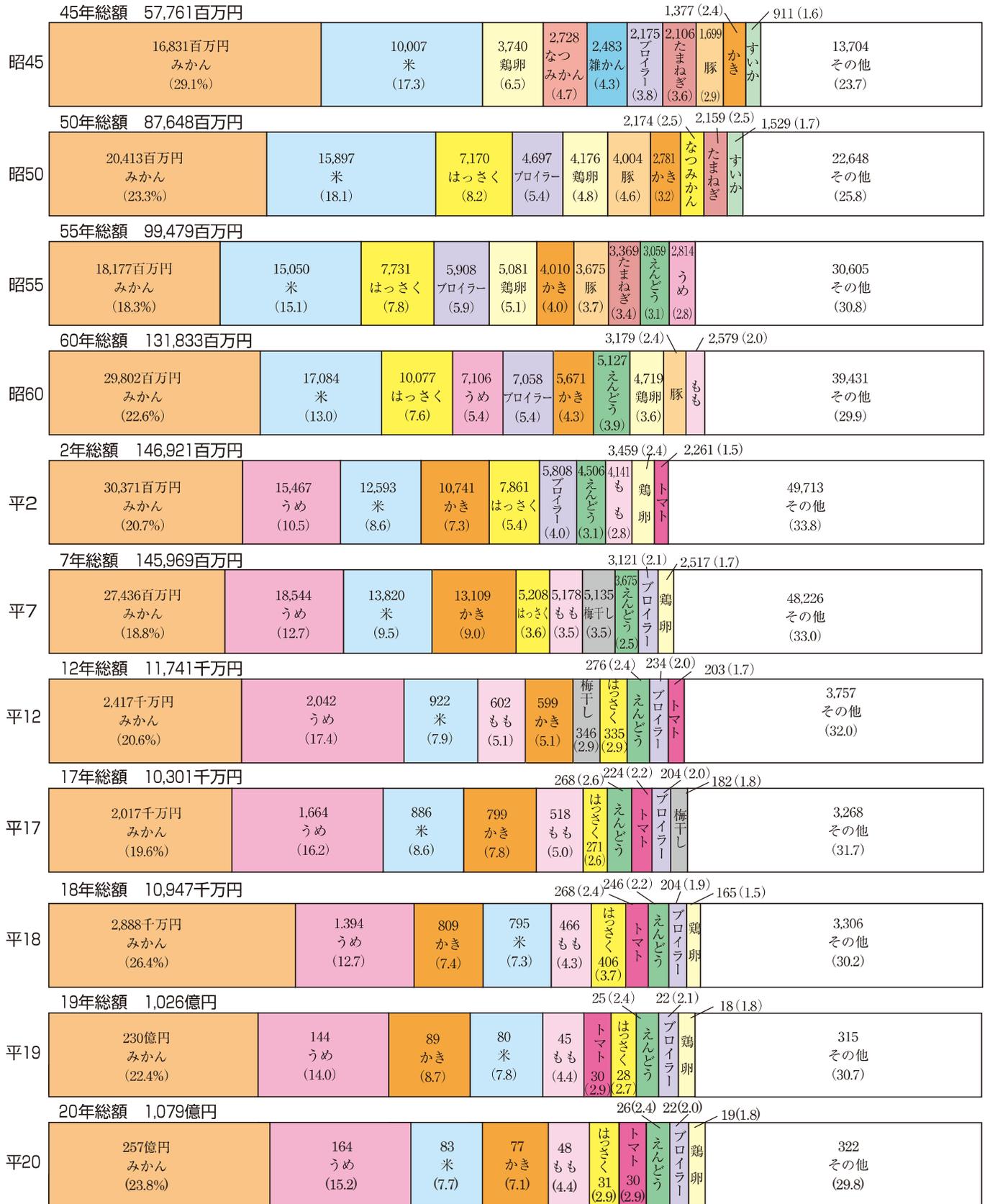
米 (833千万円)	和歌山市	紀の川市	橋本市	岩出市	御坊市	田辺市	その他
	197ha 23.6%	109ha 13.1%	52ha 6.2%	43ha 5.2%	42ha 5.0%	42ha 5.0%	348ha 41.3%
野菜 (1,677千万円)	和歌山市	紀の川市	印南町	御坊市	日高川町	その他	
	464ha 27.7%	240ha 14.3%	200ha 11.9%	142ha 8.5%	78ha 4.7%	553ha 33.0%	
果実 (6,508千万円)	紀の川市	有田川町	田辺市	みなべ町	海南市	その他	
	1,170ha 18.0%	910ha 14.0%	745ha 11.4%	725ha 11.1%	590ha 9.3%	3,368ha 36.4%	
花き (545千万円)	御坊市	印南町	紀の川市	有田川町	田辺市	その他	
	189ha 34.7%	73ha 13.4%	71ha 13.0%	41ha 7.5%	27ha 5.0%	144ha 26.4%	

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

農産物産出額上位10品目の推移

農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約39%を占めており、平成20年は1位みかん、2位うめ、3位米、4位かき、5位ももとなっている。



0 50 100

6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備48.6%、かんがい施設整備29.9%、区画整理6.1%で田の区画整理は14.6%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
畑 面 積 (ha)		24,500	24,700	25,200	25,400	25,300	25,100
農道整備済み面積 (ha)		11,937	11,936	12,164	12,167	12,175	12,204
	整備率 (%)	48.7	48.3	48.3	47.9	48.1	48.6
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)		7,269	7,269	7,499	7,495	7,501	7,501
	整備率 (%)	29.7	29.4	29.8	29.5	29.6	29.9
区画整理済み面積 (ha)		1,511	1,513	1,516	1,516	1,516	1,520
	整備率 (%)	6.2	6.1	6.0	6.0	6.0	6.1

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
田 面 積 (ha)		11,900	11,800	11,700	11,400	11,200	10,900
区画整理済み面積 (ha)		1,495	1,540	1,554	1,588	1,588	1,588
	整備率 (%)	12.6	13.1	13.3	13.9	14.2	14.6

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
農業水利施設延長 (km)		—	—	—	682	682	682
	保全対策済み延長	—	—	—	8	16	24
ため池の箇所数		5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
	整備済み箇所数	949	984	1,014	1,051	1,090	1,115
	整備率 (%)	17.0	17.7	18.2	18.9	19.6	20.0
農業集落排水整備対象人口 (人)		65,195	67,102	64,019	63,388	62,742	61,878
	整備済み人口	29,930	35,257	35,833	40,857	41,045	43,302
	整備率 (%)	45.9	52.5	56.0	64.5	65.4	70.0
広域農道整備済み延長 (km)		61.9	64.6	64.6	64.6	65.8	66.9

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長

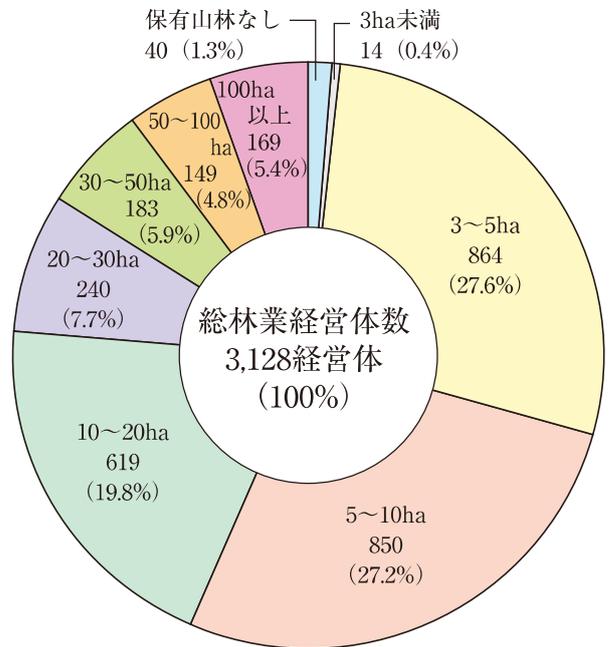
2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

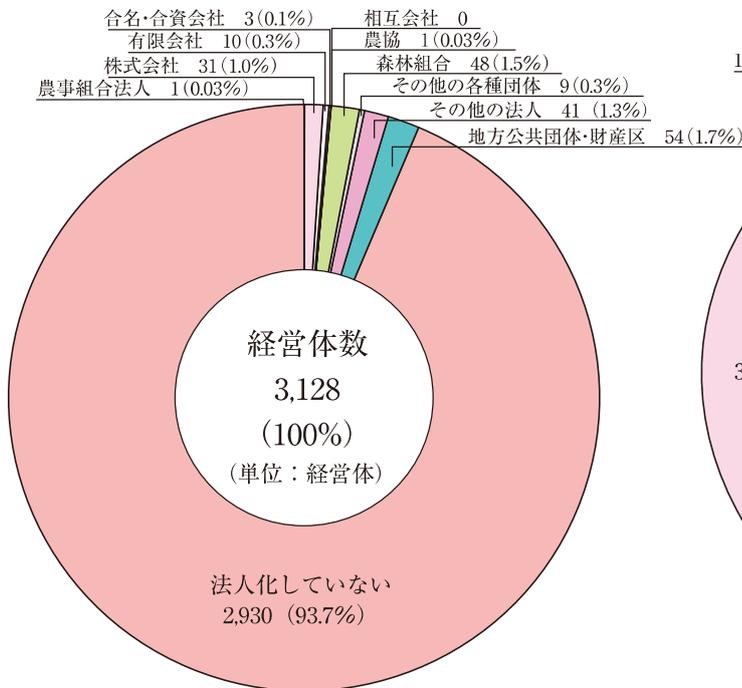
本県の林業経営体数は、3,128経営体となっており、保有山林規模別では、10ha以下の経営体が総数の57%を占め、規模の小さな経営体が多い。

また、組織形態別では、法人化していない経営体が94%を占めている。家族経営における林業従事日数150日以上に従事者は6%と少ない。

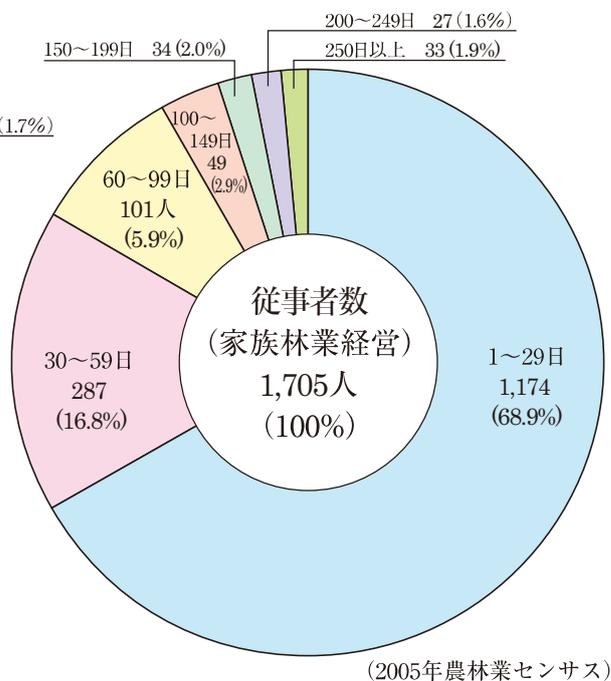
保有山林規模別林業経営体数



組織形態別経営体数（平17）



日数別従事者数（平17）



(2005年農林業センサス)

(2005年農林業センサス)

〔平17〕	林業経営体数					
	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名
林業経営体数	200,224	3,128	29	1.6	北海道	岩手 岐阜